地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業彦	デ 等	の名	称	三日	田し、	きい	き	プラ	ザ							
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	0	3			
					₹	1	0	8	_	0	0	3	7	区ī	市町村の	克 東京都港区	
事	業所	等の	所在	三地	町彡以	名番	F 地 下	芝4·	-1-1	7							
事	業所	等の	延床面	面積		1,	527.	.65	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レギ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度の 用期間	□ 1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有	•				
報	4	i	範	囲		建物	勿の	全部	S [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	5用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食								(飲食)				
		途				工均	易					複台	合施	面設 ■ その他			
に	おける	5細2	産業分 分類番	争号	8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可i 利	能工 用	ネルキ 状	デー 況				記記		設			E可能 【の5		ネルギー	□ 証書に』 の利用	たる環境価値
前か	_		设告内 定 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	41	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		79	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	81	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	51.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の日	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	15,198.7	45.00	683.9	0.0136	34.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	92,429.0	9.97	921.5	0.4890	45.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/ (その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,605.5		¹⁵ 79.3
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	3,447.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,447.0			0.4000	1.4
		合 計				$\overline{}$			2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球區暖化刈	710 - 700	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
幺日 釒	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
水丘 水	取 平 町 ジ 金 浦				
エン	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C314	効率的な台数でのボイラ等の運転
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ギ					W. C
 対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策				
				E135	エレベータのインバータ制御
	凯供省工业体			E139	進相コンデンサ等による力率改善
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	t	
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。トイレの照明等を間引きで点灯させている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	等	の名	称	虎	/門	いき	ر ۱ <u>۶</u>	きプ	ラサ	2						
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	0	4			
	VII.4	<i>tete</i> -	/		Ŧ	1	0	5	_	0	0	0	1	区ī	市町村名	五 東京都港区	
事	業別	等 0	所有	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	虎ノ	門1-								
事	業所等	等の多	延床面	面積		1,858.08 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満									□ 1年未満		
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	•				
報	告	Ì	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範[囲の	主たる	る用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲								:(飲食)				
		途				工均	易			□ 複合施設						■ その他	
			毛業 分類 番		8	5	4	9		鎖化	(事				直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ョ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒			設		再生 電気	E可能 【のst	能工 受入	ネルギー	□ 証書に』 の利用	る環境価値
前か			设 告 内	n 容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 67	kl
一些小儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	④ 132	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	68.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (i)=(8)×(9)×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	14,758.9	45.00	664.1	0.0136	33.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	195,000.8	9.97	1,944.2	0.4890	95.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	の他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし			よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 2,608.3		¹⁵ 128.5
その				m^3	6,015.0			0.2660	1.6
他公共下水道			m^3	6,015.0			0.4000	2.4	
		合 計							4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善				
組糸	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告				
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定				
	運用対策								
省									
エネル									
ノギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検				
- 対		D101	空調フィルターの清掃・点検	D100	快 X(ノイバク 一 リノ 目				
策	設備保守対策		22,000 10 00 00 1100						
				E139	進相コンデンサ等による力率改善				
	設備導入対策								

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項

・虎ノ門高齢者在宅サービスセンターを併設。・区分所有(民間ビルに入居)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	等	の名	称	麻石	布地	区流	総合	支	所							
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	ı	0	0	0	5		_	
					₹	1	0	6	-	8	5	1	5	区ī	市町村名	五 東京都港区	
事	業所	手所等の所在地 町名番地 以 下 六本木5-16-45															
事	業所等	等の?	延床面	面積		6,	317.	.00	m^2	事:	業 戸 ネ <i>i</i>	育等レギ	の <u>'</u> `` ー	実 種	責年度 ℓ 用期間	1年度分	□ 1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有					
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殖	と物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	·部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		□ その他	
			ミ業分 分類者		9	8	2	1		鎖化	(事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				E/ 電設(設			ミ可能		ネルギー	□ 証書に』 の利用	よる環境価値
		の す り 変	设告内 医 更	n 容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 172	kl
一些儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 52.0	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
244J.	都市ガス			Nm^3	6,639.0	45.00	298.8	0.0136	14.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Thi:	*** その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	603,045.0	9.97	6,012.4	0.4890	294.9
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	39,482.0	9.28	366.4	0.4890	19.3
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみた			kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁴⁰ 6,677.5		329.1
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,399.0			0.2660	0.6
他	の他公共下水道			m^3	2,632.0			0.4000	1.1
		合 計							1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
組	織体制の整備				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
12.7	11 1/1 // // 12 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C110	余熱利用による早めの空調停止
省				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
工				C113	中間期における外気冷房の実施
ネ				C123	温湿度の適正管理
ルギ				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	設備保订別界	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	机供道工具体	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	t	
	その他	特記事項に内容を記載	戈	

6	特言	2事項

・麻布区民センター(指定管理者が運営)、統計調査係、レストランを併設。・雨水使用の為、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業月	f 等	の名	称	飯1	食保	育	礻											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	6					
	W	<i>tutu</i> _	/		Ŧ	1	0	6	_	0	0	0	6	区	市町村	名	東京都港区		
事	莱州	等 0.	所在	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	東席	₹布1										
事	業所領	等の	延床面	面積		1,	995.	.38	m^2	事	業 戸 ネ ノ	了等 レキ	の 🤄	実 ん 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	<u> </u>	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有							
報	벋	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	物	カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(その	り他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
			を業分 分類者		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■ 3	非該当
再の	生可 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設		再生電気	ミ可能	能工. 受入	ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境の	価値
前か			设 告 内	n 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 64	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 122	t
二酸化炭素	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
排 出 量	総計(④=②+③)	4 124	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	61.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			区川		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(10)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	12,399.5	45.00	558.0	0.0136	27.8
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	193,897.6	9.97	1,933.2	0.4890	94.8
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
							[®] 2,491.1		122.6
その				m^3	3,397.7			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,397.7			0.4000	1.4
		合 計							2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化对	R V X II	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組	献体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
))) Ide	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
使用状況の把握					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
エ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対等	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
來	及佣杯与为来				
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				
	IN THE TAXABLE PARTY				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無				_		
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)				
	その他	特記事項に内容を記載	戈				

			767 70 14 664
6	6 特記事項		
•	飯倉学童クラブを併	武。	

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	千 等	の名	称	南原	麻布	i保 ⁻	育園									
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	7		_	
					₹	1	0	6	-	0	0	4	7	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等の	の所有	E地	町彡以	名番	F 地 下	南席	₹布4								
事	業所	等の	延床面	面積			722.	.45	m^2	事	業月 ネノ	F等レキ	の <u>;</u> 	実 種 使	責年度 ∅ 用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	丰	Î	形	態		自己	己所	有		〕他	1者)	听有	•				
報	겉	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商美	美施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複台	}施	設		■ その他	
			を業分 分類者		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か			设告 が 変 更	內容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1)	37	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		72	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	73	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	99.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の)種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	4,872.9	45.00	219.3	0.0136	10.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
-	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/··	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	125,254.0	9.76	1,222.5	0.4890	61.2
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,441.8		¹⁵ 72.2
その	水道及び工業			m^3	2,780.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,780.0			0.4000	1.1
		合 計							1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	71, 50, 1111, 100 11 1 VI

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆□ ﴿	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土形	戦性間の電漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
12	11 10 10 10 10				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
工				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	政源体与对象				
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	以州等八刈水			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項			

・区分所有(都営住宅と併設)

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業彦	デ 等	の名	称	南原	麻布	î۷۱	きい	きフ	゚゚ラţ	ヂ								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	9					
					₹	1	0	6	-	0	0	4	7	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の)所在	E地	町夕以	名番	F 地 下	南席	₹布1										
事	業所等	等の	延床面	面積		3,	751.	.88	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 を 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	□ 1年	三未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	告	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	ーント)] 建物の一	部(その	他)
報	告範[囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)		□商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	合施	設			●その他		
			産業分 分類者		8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■非	該当
再の	生可育	能工 用	ネル ^ョ 状	ギー 況				E 直設(帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境価	i値
前か	年度らい		最告内 変 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 98	kl
一些儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 189	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	④ 192	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 50.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	43,743.1	45.00	1,968.4	0.0136	98.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	186,219.0	9.97	1,856.6	0.4890	91.1
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,825.0		¹⁵ 189.2
その	水道及び工業			m^3	5,403.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			m^3	6,096.0			0.4000	2.4
		合 計							¹⁶ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ √	織体制の整備			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
形丑 7	戦や前の登漏			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
IX.	11 4/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	運用対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C304	利用客数の時間帯別把握
五				C317	その他設備の不使用時の停止
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	机供用点料签	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	設備保守対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_				
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t				
	その他	特記事項に内容を記載							

6 特記事項

・南麻布高齢者在宅サービスセンター、南麻布地域包括支援センターを併設。当該施設は指定管理者が運 営・管理。 ・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	デ 等	の名	称	赤坝	扳地	区	総合	支流	所									
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	1	1					
					₹	1	0	7	-	0	0	5	2	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等 0	所有	E地	町纟以	名番	F 地 下	赤埸	₹4-1										
事	業所領	等の	延床面	面積		14,	697.	.10	m^2	事:	業月ネノ	F等レキ	の <u>;</u> 	実 を 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	☐ 1 ⁴	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	也者)	听有	`						
報	겉	î	範	囲		建物	勿の	全剖	ß	〕	と物の	カー	部(テナ	-ント)		■建物の一	部(その	他)
報	告範	囲の	主たる	5用	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食										(飲食)				
		途				工均	易					複合	 合施	設			〕その他		
に	おける	5細2	産業分 分類者	肾号	9	8	2	1		鎖化	(事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■ 非	丰該当
再の	生可 [*] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 予 - 発官		帯の	設			ミ可能		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境値	近
前か		の す の 多	设告 内 ど 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 453	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	^③ 5	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	<a>884	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 59.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0)=8×9×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	179,397.6	45.00	8,072.9	0.0136	402.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	609,804.0	9.97	6,079.7	0.4890	298.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	284,782.0	9.28	2,642.8	0.4890	139.3
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	81,007.3	9.76	790.6	0.4890	39.6
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 17,586.0		¹⁵ 879.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	7,843.0			0.2660	2.1
他	公共下水道			m^3	8,906.0			0.4000	3.6
		合 計							5.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地冰価吸信剂		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
火口 ∜	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 7	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B103	時間的に詳細に把握
エネルギー等の 使用状況の把握				B104	設備ごとに詳細に把握
	11 10 10 00 10 12			B106	過去のデータによる傾向の把握
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ュ				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ネ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
ルギ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	故 佣 休 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	以哺等八刈水			E129	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無								
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						
	その他	特記事項に内容を記載							

6 特記事項

・赤坂区民センター、健康増進センター、シティハイツ赤坂(共用部分、職員寮、区営住宅)を併設、これらの施設は指定管理者が運営・管理している。 ・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業彦	等	の名	称	南市	青山	保	育園											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	3					
				·	=	1	0	7	-	0	0	6	2	区	市町村	名 東京都海	比区		
事	業所	等の	所在	三地	町夕以	名番	F 地 下	南青	青山1										
事	事業所等の延床面積 1,100.00 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満																		
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	告	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の	ひーキ	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業/	□ 商業施設(飲食)		
		途				工均	易					複合	合施	設		■ その他			
			医業分 分類番		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟	显店		非該当
再の	生可育 利	能工 用	ネル ^ュ 状	デー 況			- 予 - 発冒		帯の	設			E可能 【の§		ネルギー	□ 証書		る環境	6価値
前か	年度らい		设告内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	41	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		80	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	82	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	72.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の日	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	7,822.2	45.00	352.0	0.0136	17.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	べ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	127,900.9	9.76	1,248.3	0.4890	62.5
規則第5条の17第3項の場合のみな			なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 1,600.3		80.1
その	水道及び工業			m^3	3,919.0			0.2660	1.0
他 公共下水道				m^3	3,919.0			0.4000	1.6
		合 計							2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化对	東の夫別		1	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√п «	かなりの動性			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組	職体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
) 18 tete 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
2	11 10 10 10 12			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
エ				C510	その他設備の不使用時の停止
ネ					
ルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
來	双闸体与对水				
	設備導入対策				
	以州等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項

- ・高温時を除き、扇風機やファンの多用を心がけている。 ・区分所有(都営住宅と併設)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	等	の名	称	青	「八丁	きい	き	プラ	ザ									
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	1	5					
					Ŧ	1	0	7		0	0	6	2	区ī	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	所有	E地	町以	名番	地 下	判下											
事	業所等	いまり かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう	延床面	面積		2,	471.	.33	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>}</u> 	実 種 使	責年度 用期	の 間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(そ	の他)
報台	告範 [囲の	主たる	る用		事	务所					商美	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食	()
		途				工均	易					複合	}施	設			その他		
			ミ業分 分類者		8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再りの	生可能 利	能工. 用	ネルジ 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生電気			ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	6価値
	年度 ら 0		设告卢 泛 更	7 容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1)	50	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	98	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	99	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	39.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9 9	(t) (0=8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	18,412.8	45.00	828.6	0.0136	41.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
3111	べ その他()				0.0				
-	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/··	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	117,412.0	9.76	1,145.9	0.4890	57.4
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 1,974.5		98.7
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,398.0			0.2660	0.6
他 公共下水道				m^3	2,398.0			0.4000	1.0
		合 計							1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	71, 54 V 1111 FLA 11 1 V 1 VK V 7 2C 1115 4 V 1 V 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
公日 幺	・ 電体制の整備				
水丘川	似 中 同 ジ 歪 浦				
	4 1 1 1 K 6	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
1~7	11 46 56 3 16 17			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
省		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
エ		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
ルギ				C312	給湯設定と使用場所の温度差把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	政师床与对来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以用等八刈水			E127	蒸気バルブ等の断熱強化
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項

・当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	育等	の名	称	高輔	输地	区	総合	支	所									
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	1	6					
					₹	1	0	8	-	8	5	1	8	区	市町村	名 東京都洋	巷区		
事	業所	等の)所有	E地	町夕以	名番	F 地 下	高輔	⋒1−1										
事	業所領	等の	延床面	面積		11,	255.	.01	m^2	事:	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 を 使	責年度(用期	り ■ 1年月	度分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	겉	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の	シーギ	部(そ	の他)
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□商業	施設(飲食)
		途				工均	易					複合	合施	設		■ その作	也		
に	おける	5細:	産業分 分類者	肾号	9	8	2	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟	显店		非該当
再の	生可 ['] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ドー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書		る環境	価値
前か		の 東 の 多	设告 内 ど 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	238	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		455	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	457	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	40.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	·種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7		(t) (0=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	34,929.7	45.00	1,571.8	0.0136	78.4
燃料	その他(A重流	由)		L	493.0	39.10	19.3	0.0189	1.3
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
765	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	697,981.0	9.97	6,958.9	0.4890	341.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	70,602.0	9.76	689.1	0.4890	34.5
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 9,239.1		¹⁵ 455.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,839.2			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	5,291.6			0.4000	2.1
		合 計							¹⁶ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		·	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ 4	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
形丑 月	戦性的の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
) 18 to 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100 /	11 1/1 // // 11 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
ıн		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政源体立对来	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以州等八刈水			E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

・A重油は非常用発電機に使用している。・高輪区民センター、シティハイツ高輪を併設している。それぞれ指定管理者が運用・管理している。・教育委員会所管の高輪図書館を併設しているが、本報告には含まれない。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	等	の名	称	白金	金台	۱۷ ۱ <u>۶</u>	きい	きフ	゚゚゚ラţ	ヂ								
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	1	8					
					Ŧ	1	0	8	-	0	0	7	1	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	所有	E地	町以	名番	地下	口江	≳台4										
事	業所等	等の3	延床面	面積		3,	964.	.72	m^2	事	業 戸ネノ	f等 レギ	の <u>;</u> -	実 ん 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所		□ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食))	
		途				工均	易					複合施設			■ その他				
			ミ業 分類 番		8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再2	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生電気			ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	6価値
		の す り 変	设告内 医 更	可 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 120	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
- 酸化灰素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	④ 233	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 58.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	45,932.3	45.00	2,067.0	0.0136	103.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	53,025.0	9.97	528.7	0.4890	25.9
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	212,555.0	9.76	2,074.5	0.4890	103.9
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,670.1		¹⁵ 232.9
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,924.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	875.8			0.4000	0.4
		合 計							1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
♦□ ♦	強 牙 型 の 軟 歴			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水 丑 7	織体制の整備			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
) - 18 hts -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	運 用 対 策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
ロエネ		C508	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
小ルギ					
Ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
				E141	太陽光発電設備の導入
	設備導入対策			E142	太陽熱利用設備の導入
	B√ \m → → / √ / 1 / K				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無				_				
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度)						
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項

・白金台児童館(区が運営・管理)を併設。・当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業所	等	の名	称	白金	金保	育	煮												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	0						
	VII.4	£164 -	<i>1</i>		Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	2	区ī	市町村	名 東戸	京都港区			
事	業所	等 0	外在	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	白金	<u>≥</u> 3−1											
事	業所等	等の3	延床面	面積	2,564.50 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満															
所	有	•	形	態		自己	3所	有		〕他	1者月	听有	•							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殖	物	カー	部(テナ	-ント)	口質	車物の−	一部	(その	他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商氵		設(物販)		商業施 認) (创	(食)	
		途				工均	易					〕複合施設				■ その他				
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店	i	■非	該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^ョ 状	ギー 況				E 土 / 直設(設		再生電気	三可能	能工 受入	ネルギー		証書に。 の利用	よるタ	環境促	面值
前か	年度らる		设告内 泛 更	可 容 点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 73	kl
一颗化岩	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 54.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	燃料等の種別		単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	32,413.1	45.00	1,458.6	0.0136	72.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
765	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	137,866.9	9.97	1,374.5	0.4890	67.4
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,833.1		¹⁵ 140.2
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	3,763.3			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,769.3			0.4000	1.5
		合 計							¹⁶ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		·	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □ 4	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
水土 月	戦争前の登備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
<u> </u>	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ポルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
,	W 0.105 - 15.12	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ュ		C506	余熱利用による早めの空調停止		
ネ		C508	空室・不在時等の空調停止		
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対等	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	政师体与对承				
	設備導入対策				
	以明寺八八八水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特言	2事項

・白金いきいきプラザ、白金保育サポートと併設(それぞれ指定管理者と委託業者が運営・管理)。当該施設は区が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の概	要
Т.	T 75///	7	マンルル	333

事	業所	等	の名	称	台場	易分	室										
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	2	2			
					₹	1	3	5	-	0	0	9	1	区ī	市町村々	東京都港区	
事	業所	等の	所有	E地	町以	名番	地下	口场	景1-5								
事	業所等	争の多	延床面	面積		5,	387.	.24	m^2	事 :	業	f等 レギ	の <u>;</u> 	実 種 使	責年度の 用期間	□ 1年度分	□ 1年未満
所	有		形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	•				
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の-	・部(その他)
報台	告範圍	里の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	t(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
	本 標 おける				9	8	2	1		鎖化	事				直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再りの	生可能	ピエ. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生 電気			ネルギー	□ 証書に。 の利用	よる環境価値
前かか	年度 ら 0			7 容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 129	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 244	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 44.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
141	都市ガス			Nm^3	261.9	45.00	11.8	0.0136	0.6
燃料	その他(LPG))		kg	3,225.4	50.80	163.8	0.0161	9.7
及	その他(温水)		MJ	841,950.4	1.36	1,145.1	0.0600	50.5
び熱	その他(冷水		MJ	315,080.0	1.36	428.5	0.0600	18.9	
mi	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	263,458.3	9.97	2,626.7	0.4890	128.8
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	69,439.0	9.28	644.4	0.4890	34.0
^(その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁾ 5,020.3		⁽¹⁵⁾ 242.5
その				m^3	3,720.7			0.2660	1.0
の他	公共下水道			m^3	4,072.7			0.4000	1.6
		合 計							2.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化対	東の夫角		1	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
糸日 糸	職体制の整備				
WIT II	以 仲 川 ジ 走 畑				
·	ラルギー 笠の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
,	14 64 65 4 7 4 7 4 7 1				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C510	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
エ					
ネ					
ルギ					
í				D108	その他設備の定期的な保守・点検
対	設備保守対策				
策	政				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	凯伊诺 7 特体	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策			E110	高効率モータの導入(空調用)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

・緑のカーテンで日差しを遮る(保育園、児童館)・台場区民センター(指定管理者が運営・管理)、台場保育園、台場児童館(それぞれ区が運営・管理)を併設。区分所有(UR住宅と併設)の施設。・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として変換後に中水として利用しているため。・地域冷暖房(冷水及び温水)を利用している

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業別	デ 等	の名	称	芝剂	甫港	[南	区民	こせ、	ンタ	_						
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	2	3			
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	2	3	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等 <i>₫</i>	所有	E地	町以以	名番	地下	乙併									
事	事業所等の延床面積 2,020.50 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未											□ 1年未満					
所	有	Î	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有											
報	끋	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲1							:(飲食)					
		途				工均	易	ļ				□ 複合施設				■ その他	
			を業分 分類者		9	5	1	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能工 用	ネル ^は 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生電気			ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前 か		の 射 の 変	品告卢 夏 更	7 容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 66	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	4 127	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	62.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別					単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12		
.444.	都市ガス			Nm^3	21,549.6	45.00	969.7	0.0136	48.4		
燃料	その他()				0.0						
及	その他()				0.0						
び熱	その他()				0.0						
3111	その他()				0.0						
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	149,083.0	9.97	1,486.4	0.4890	72.9		
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	13,587.0	9.28	126.1	0.4890	6.6		
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,582.2		¹⁵ 127.9		
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	1,480.0			0.2660	0.4		
他	公共下水道			m^3	1,480.0			0.4000	0.6		
		合 計							1.0		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
公日 公	職体制の整備				
水 丘 /	似 中 同 ジ 歪 浦				
	シュギ 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
1/2 /	13 0 0 0 0 3 1 0 0 1				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
エ				C503	利用客数の時間帯別把握
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	政师体与对承	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	以用等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無				_				
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$		t					
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項

・ 当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	千等	の名	称	こう	なん	レ保	育園	II-X-III								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	l	0	0	2	4			
				·	\equiv	1	0	8	-	0	0	7	5	区	- 市町村 /	宮 東京都港区	
事	業所	等の) 所有	E地	町夕以	名番	F 地 下	港南	1 4-2								
事	事業所等の延床面積 1,185.33 m² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 1年度分 □ 1年未満											□ 1年未満					
所	丰	Ī	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有											
報	겉	i	範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕	物	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	·部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食								(飲食)				
		途				工均	易		□ 複合施設							■ その他	
			を業分 分類者		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 ['] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 円 F - 発冒			設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書に』 の利用	よる環境価値
前か			设告が 変 更	內容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1)	43	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		82	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	84	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	69.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	4,911.6	45.00	221.0	0.0136	11.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
Tive	~~ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	145,947.0	9.97	1,455.1	0.4890	71.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⁽¹⁴⁾ 1,676.1		82.4	
その	水道及び工業			m^3	3,911.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,911.0			0.4000	1.6
		合 計							⁽¹⁶⁾ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化对	東の夫別							
			重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善				
√ □ ⟨	が仕組の動法			A208	組織横断的な推進体制の整備				
和五角	職体制の整備								
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握				
	ネルギー等の 用状況の把握								
(文)	17 4人 7元 ショニ 7至								
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示				
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施				
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C123	温湿度の適正管理				
	運用対策								
省									
甲片									
ネ									
ルギ									
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検				
対	凯伊伊宁特签								
策	設備保守対策								
	設備導入対策								

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)・使わない部屋や日が差す廊下の消灯。昼寝の時間帯12~15時間の保育室と廊下の消灯。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業別	ý 等	の名	称	港區	有レ゙	きい	き	プラ	ザ							
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	ı	0	0	2	5			
					₹	1	0	8	_	0	0	7	5	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等の)所有	E地	町以	名番	地下	港岸	¶4−2								
事	業所	等の	延床面	面積		1,	254.	.00	m^2	事;	業	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度 Ø 用期間	1年度分	□ 1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有	•				
報	끋	î	範	囲		□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)								部(その他)			
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	Ě施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
			産業を 分類者		8	5	4	9		鎖化	(事)	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況				を立って記録し		設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前 か			设告が 変 更	7 容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 101	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
- 酸化灰素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 6	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	④ 202	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 156.2	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	20,204.1	45.00	909.2	0.0136	45.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
This	だ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	310,085.0	9.76	3,026.4	0.4890	151.6
規則	川第5条の17第3	項の場合のみれ	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					[®] 3,935.6		197.0
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	9,423.0			0.2660	2.5
の他	公共下水道			m^3	9,423.0			0.4000	3.8
		合 計							6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
公口 ∮	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
形丑. 7	戦性的の登開				
	4 1 1 1 K 6	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
1/2/	13 0 0 0 0 3 1 0 0 1				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
省				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
ц Ц				C113	中間期における外気冷房の実施
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政源体引为承	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以用等八刈水			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無									
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO2削減率(前年度は							
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$		t						
	その他	特記事項に内容を記載								

6	特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。温水プールを設置。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業所	等	の名	称	芝剂	甫ア	イラ	シント	ごこと	<u> </u>	園							
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	2	6				
	VIIV	£4£4	/		₹	1	0	8	_	0	0	2	3	区	- 市 町	村名	東京都港区	
事	業所	等 0.	外在	E地	町以以	名番	F 地 下	芝浦	Ì4−2									
事	事業所等の延床面積 3,761.20 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満																	
所	有		形	態		自己	3所	有] 他	也者所	折有	1					
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	と物の	の一	部(テナ	ーント)	□ 建物の−	・部(その他)
報	告範圍	里の	主たる	る用		事務	务所					商氵		設(物販	()	□ 商業施設	t(飲食)
		途				工場	易					複音	}施	設			■ その他	
	本標 おける				8	5	3	1		鎖化	(事	業区	分		直常店	当	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	ピエ. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				E 土 / 直設(帯の	設			E可能 【のS		ネルコ	ギー	□ 証書に。 の利用	よる環境価値
前か	年度 ら 0			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 122	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	④ 238	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 62.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	4,771.4	45.00	214.7	0.0136	10.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Tive	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	416,148.0	9.97	4,149.0	0.4890	203.5
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	41,653.0	9.28	386.5	0.4890	20.4
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 4,750.2		⁽¹⁵⁾ 234.6
その	水道及び工業			m^3	6,364.0			0.2660	1.7
他	公共下水道			m^3	7,249.0			0.4000	2.9
		合 計							4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
♦□ ♦	並圧型の動産			A211	所内で温暖化対策情報の提供
和土角	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
		D100	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
エン	ネルギー等の	B102			
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
工		C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
ネル				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ギ		D101	二、一次の中期的公注目 左格	D105	松ケマ い な の注目 上松
対		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E104	照明点灯範囲の細分化
	到借道 7 2 2 空			E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_					
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%					
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$		t						
	その他	特記事項に内容を記載								

6	特言	2事項

・ロールカーテンを活用して室温の調整に役立てている。・芝浦アイランド児童高齢者交流プラザを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水使用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業別	デ 等	の名	称	ふね	hあ	V 10	り湯	:										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	9					
					₹	1	0	5	_	0	0	1	4	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	所有	E地	町纟以	名番	*地 下	芝2	-2-1										
事	事業所等の延床面積 417.96 m ² 事業所等の実績年度の 1年度分 □ 1年未満 1年度分 □ 1年未満																		
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有							
報	茌	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕	と物の	カー	部(テナ	ーント)] 建物の一	部(その	の他)
報	告範[囲の	主たる	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)													
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
	本 標 おける				7	8	5	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可育	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設		再生電気	E可能 【のS	能工. 受入	ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か	年度らい		设告内 医 更	7 容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	39	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		75	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	78	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 1	79.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	20,727.0	45.00	932.7	0.0136	46.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
3111	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	58,621.0	9.97	584.5	0.4890	28.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/ (その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ³ kWh		0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
合 計					⁽¹⁴⁾ 1,517.2		¹⁵ 75.2		
その	そが道及び工業用水道			m^3	5,545.0			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	5,545.0			0.4000	2.2
合 計							3.7		

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策	その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集	
形 丑. 7	取 平 町 ひ 金 浦					
	4 1 1 1 1 1 TO	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B103	時間的に詳細に把握	
エネルギー等の 使用状況の把握				B104	設備ごとに詳細に把握	
1/2/	17 // // // 12 // 1					
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理	
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
	運 用 対 策	C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
省		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理	
工				C314	効率的な台数でのボイラ等の運転	
ネ				C319	蒸気の漏れ・保温の管理	
ルギ				C317	その他設備の不使用時の停止	
1	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整	
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施	
				E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入	

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6	特記事項

・ 当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	'垒(つ押	팰
1	チャル	4	ノルル	女

事	業別	デ 等	の名	称	特別	別養	護	老人	、ホー	ーム	白金	金の	森						
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	0					
					₹	1	0	8	-	0	0	7	1	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の)所有	E地	町夕以	名番	F 地 下	白金	全台5										
事	業所	等の	延床面	面積		4,	466.	.78	m^2	事:	業 戸 ネ <i>ァ</i>	下等 レキ	の <u>'</u> -	実 を 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	☐ 1 ⁴	F未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	볃	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕	き物の	カー	部(テナ	ーント)] 建物の一	部(その	他)
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)		□商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
に	おける	5細2	産業分 分類者	肾号	8	5	4	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■非	該当
再の	生可	能エ 用	ネル ^ョ 状	ギー 況			- 発電			設			三可能		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境値	面值
前か			最告内 変 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	247	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		471	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	10	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	481	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	105.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の) 種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	38,649.8	45.00	1,739.2	0.0136	86.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	787,526.8	9.97	7,851.6	0.4890	385.1
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>/</i> ···	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					9,590.9		¹⁵ 471.8
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	15,403.0			0.2660	4.1
他	公共下水道			m^3	15,403.0			0.4000	6.2
		合 計							10.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
√ □	並はとこの動性			A211	所内で温暖化対策情報の提供
和上有	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
_ ,	シュギ かっ	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
省		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
五		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
ルギ				C417	不使用室の空調停止
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政源体与对象	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以州等八刈水			E127	蒸気バルブ等の断熱強化
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	t	
	その他	特記事項に内容を記載	戈	

6	Ħ	焅	뺡	耳	E	項
()	-	7	ml		₽-	~ 🖂

・高齢者在宅サービスセンター白金の森、地域包括支援センター白金の森を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雑排水、雨水が混合しているため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業別	デ 等	の名	称	特別	別養	護	老人	、ホー	ーム	港區	南の	郷				
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	1			
					₹	1	0	8	-	0	0	7	5	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等の)所在	E地	町夕以	名番	F 地 下	港南	₹3-3								
事	業所	等の	延床面	面積		9,	363.	.50	m^2	事	業 戸 ネ ノ	「等 レキ	の <u>;</u> 	実 種 使	責年度の 用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	`				
報	볃	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所					商氵		設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	 合施	設		■ その他	
に	おける	5細2	€業分 分類番	肾号	8	5	4	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 発電		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度らい		设告内 定 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	^① 537	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③ 17	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	1,045	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 109.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の)種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	159,745.5	45.00	7,188.5	0.0136	358.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	1,370,512.0	9.97	13,664.0	0.4890	670.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 20,852.6		1,028.6
その水道及び工業用水道				m^3	25,580.0			0.2660	6.8
他	公共下水道			m^3	25,580.0			0.4000	10.2
		合 計							17.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化对	東の夫別		ı	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
幺日 幺	職体制の整備				
水丘 州	戦 平 町 ジ 歪 浦				
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	ネルギー等の 用状況の把握				
^	13-04-08-> 15-15-				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更		
	運用対策				
省					
工					
ネ					
ルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対等	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
水	及师水与为米	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				
	以明寺八八八水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特言	2事項

・高齢者在宅サービスセンター港南の郷、ケアハウス港南の郷、地域包括支援センター港南の郷を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業月	デ等	の名	称	特別	寺別養護老人ホームサン・サン赤坂													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	2					
					₹	1	0	7	-	0	0	5	2	区	市町村	·名	東京都港区		
事	業所	等の	所在	E地	町夕以	名番	F 地 下	赤切	₹6-6										
事	業所領	等の	延床面	面積		8,	491.	.34	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 を 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	□ 1年	未満
所	有	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	겉	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		■建物の一	部(その他	也)
報	告範	囲の	主たる	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設							□商業施設	(飲食)					
		途				工均	易					複合	合施	設			●その他		
			産業分 分類者		8	5	4	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■非	該当
再の	生可 [*] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 予 - 発官		帯の	設			E可能 【の§		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境価値	値
前か			设告 内 ど 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 349	kl
一颗化皂	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
- 酸化灰素 排 出 量	水垣及し工来川水垣の民川並して五六十水垣への帰	③ 13	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 79.6	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (i)=(8)×(9)×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	109,776.4	45.00	4,939.9	0.0136	246.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	528,678.6	9.97	5,270.9	0.4890	258.5
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	205,403.6	9.28	1,906.1	0.4890	100.4
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	146,188.7	9.76	1,426.8	0.4890	71.5
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 13,543.8		¹⁵ 676.8
そ 水道及び工業用水道				m^3	20,598.7			0.2660	5.5
の他公共下水道				m^3	20,598.7			0.4000	8.2
		合 計							13.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □ 4	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
邢丑月	戦性制の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
) 18 to 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100	11 10 10 00 10 12			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C132	開け放し開口部面積の縮小
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C419	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政黨体立为來	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	双 佣 等 八 刈 來			E105	照明用人感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有		無		_	_	_
	ベンチマー	ーク区	☑分	·	ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出i	量(延)	床面積当た	·	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他			特記事項に	内容を記載		

6 特記事項

- ・エアコンの設定温度を夏は28度、冬は20度とし、職員への周知及び喚起を行った。・夜間時の人が少なくなる時間帯は照明を夜間モードにし、点灯箇所の制限を行った。
- ・毎月の管理職の会議で使用状況の確認を行い、使用量をグラフ化したものを職員通用口に掲示し、職員へ の意識啓発を行った。
- ・高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、赤坂子ども中高生プラザを併設している。
- ・教育委員会所管の氷川武道場も併設しているが、氷川武道場は本報告の実績には含まない。
- ・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業所	等	の名	称	台埠	易高	静	者在	E宅	サー	ービン	スセ	ンタ	<u>, </u>					
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	3	3					
	W	<i>b-b-</i>			Ŧ	1	3	5	_	0	0	9	1	区	市町村	† 名	東京都港区		
事	業所	等 0	外石	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	台場	易1-5										
事	業所等	等の3	延床面	面積		1,	466.	.92	m^2	事:	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 を 使	責年 度 用 期	この 間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有	•						
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殖	と物の	カー	部(テナ	ーント)		■建物の一	部(その	の他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設			■その他		
	本 標 おける				8	5	4	2		鎖化	(事				直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^ョ 状	ギー 況	再生可能エネルギー □ ギー発電設備の設 電気の受入 □ 証書による環 の利用									る環境	価値				
前か	年度らる		设告内 泛 更	可 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	55	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	100	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	101	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	68.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	572.3	45.00	25.8	0.0136	1.3
燃料	その他(温水))		MJ	670,900.0	1.36	912.4	0.0600	40.3
及	その他(冷水))		MJ	152,300.0	1.36	207.1	0.0600	9.1
び熱	その他()				0.0				
Tive	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	101,534.0	9.97	1,012.3	0.4890	49.7
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,157.6		100.3
その	水道及び工業			m^3	2,391.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			m^3	2,550.0			0.4000	1.0
		合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地冰血吸化剂) (· ·) (// (重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A216	所内会議・研修会等で報告
√ □ ⟨	並み生の動作	A203	具体的な取組目標と内容の設定		
水 丑 7	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築		
) - 18 - 66 -	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C110	余熱利用による早めの空調停止
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ュエ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政源体引为承	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以用等八刈水			E127	蒸気バルブ等の断熱強化
				E110	高効率モータの導入(空調用)

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無								
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO2削減率(前年度)						
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						
	その他	特記事項に内容を記載	烖						

6 特記事項

- ・区分所有(UR住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。
- ・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として変換後に中水として利用しているため。
- ・地域冷暖房(冷水、温水)を利用している。

1	事業所	垒	の概	要
Т.	 	7	マンルル	333

事	業月	〒等	の名	称	北市	青山	高	齢者	f在 [:]	宅サ	<u></u> 1	ビス	セン	ノタ・	_		
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	4			
					₹	1	0	7	-	0	0	6	1	区ī	市町村の	宮 東京都港区	
事	業所	等の	の所在	E地	町彡以	名番	F 地 下	1L F.	計山1								
事	業所	等の	延床面	面積		1,	541.	.92	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度(用期間	D ■ 1年度分	□ 1年未満
所	丰	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	•				
報	겉	i	範	囲		建物	勿の	全部	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の-	・部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	*(飲食)
		途				工均	易					複合	合施	設		■ その他	
に	おける	5細	産業分 分類番	昏号	8	5	4	2		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 ['] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 発電			設			E可能 【の§		ネルギー	□ 証書に。 の利用	よる環境価値
前か	_		设告卢 変 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	46	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		88	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	91	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	57.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の)種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
	Letter Lands				6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	18,950.3	45.00	852.8	0.0136	42.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	94,494.0	9.97	942.1	0.4890	46.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,794.9		¹⁵ 88.7
その	水道及び工業			m^3	4,976.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			m^3	4,698.0			0.4000	1.9
		合 計							3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地冰価吸信剂	·	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □	並み生の動性	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
水 丑	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策			C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
省				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
エ				C113	中間期における外気冷房の実施
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_	
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項

・施設入口のエントランス、各フロアーのベランダに緑のカーテンを設置。・北青山地域包括支援センターを併設。区分所有(都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業所	等	の名	称	芝	高齢	者	在宅	ミサ	ービ	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヹ゚゚゙゙゙゙゙゙	Zン:	ター						
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	5					
	VII.4	£164 _	· /		Ŧ	1	0	5		0	0	1	4	区	市町村	· 名	東京都港区		
事	業所	等 0	外在	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	予地 下	芝3·											
事	業所等	等の多	延床面	面積			991.	.28	m^2	事	業 戸 ネ ノ	了等 レキ	の <u>;</u> : _	実 ん 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者)	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [] 殞	物	カー	部(テナ	ーント)] 建物の一	部(その	の他)
報	告範[囲の	主たる	5用		事	务所					商業	Ě施	設(物販)] 商業施設	(飲食))
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
	本 標 おける				8	5	4	2		鎖化	事				直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒			設			三可能		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か	年度らる		设告内 定 更	可 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 56	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 108	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	④ 110	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 108.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			区川		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	18,954.2	45.00	852.9	0.0136	42.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	べ その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	134,215.0	9.97	1,338.1	0.4890	65.6
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ³ kWh			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計					[®] 2,191.1		108.2		
その				m^3	3,987.0			0.2660	1.1
他 公共下水道			m^3	3,009.0			0.4000	1.2	
	合 計								2.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

4	地球温暖化対策の実施状況
4	<u> おきおい(m.b/g 11. か) が Vノーナ がはれた (ル.</u>

			重点対策	その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名			
公日 幺	織体制の整備							
小丘〃	സ 平 川 ツ 正 川							
T.	ネルギー等の							
	用状況の把握							
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示			
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施			
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示			
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止			
	運用対策			C122	冷風と温風の混合損失の防止			
省				C132	開け放し開口部面積の縮小			
エ				C317	その他設備の不使用時の停止			
ネ								
ルギ								
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃			
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検			
朿	故 佣 休 寸 刈 承	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検			
		D106	ボイラ等の定期点検の実施					
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入			
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化			
	欧洲等八刈水			E105	照明用人感センサの採用			
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)			

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_	
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項

・芝地域包括支援センターを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の根	F 要
	T 75 //	7	マンル	1435

事	業月	沂 等	の名	新	障領	害保	人健	福祉	とせ、	ンタ	_						
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	3	6			
				·	=	1	0	5	-	0	0	1	4	区	市町村の	宮 東京都港区	
事	業所	· 等 (の所名	主地	町夕以	名番	F 地 下	芝1	-8-2								
事	事業所等の延床面積 17,809.94 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年未満										□ 1年未満						
所	7	j	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有	`				
報	<i>-</i>	Ļ	範	囲		建物	勿の	全剖	ß	〕	と物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の-	-部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設							と(飲食)					
		途				工均	易					複合施設 ■ そ				■ その他	
			産業分 分類る		8	5	5	9		鎖化	(事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル: 状	ギー 況			- 発電		帯の	設			三可能		ネルギー	□ 証書に。 の利用	よる環境価値
前か			報告卢 変 更														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 436	kl
一些儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 833	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	<a>§836	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 46.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	101,730.7	45.00	4,577.9	0.0136	228.3
燃料	その他(A重流	由)		L	260.0	39.10	10.2	0.0189	0.7
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	1,237,113.0	9.97	12,334.0	0.4890	604.9
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 16,922.1		833.9
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	7,247.0			0.2660	1.9
の他	公共下水道			m^3	5,131.0			0.4000	2.1
	·	合 計							4.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A208	組織横断的な推進体制の整備
紀	織体制の整備				
WATE V	嵌件削♡走佣				
丁,	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
	運用対策			C522	効率的な台数でのボイラ等の運転
				C523	蒸気の漏れ・保温の管理
省					
エ					
ネルン					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政源体引为来	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
	設備導入対策				
	2 - 2114 14 2 - 2 2 4 2 1 4				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事項

・シティハイツ竹芝(区民住宅、職員寮)を併設。当該施設は指定管理者が運営・管理。・A重油は非常用発電機に使用。

1	事業所	垒	の根	F 要
	T 75 //	7	マンル	1435

事	業月	千 等	の名	称	東原	麻布	i保 ⁻	育園											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	9					
					=	1	0	6	-	0	0	4	4	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等 0)所有	E地	町夕以	名番	F 地 下	東席	釆布2										
事	事業所等の延床面積 2,614.98 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年未満										1年未満								
所	₹	Í	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有													
報	쉳	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		■建物の一	部(その	の他)
報	告範	囲の	主たる	る用	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食							(飲食)						
		途				工均	易					複合	合施	設		■ その他			
			産業分 分類番		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 発電		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	•	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か			设告 内 変 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 66	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 127	t
一酸化灰素 排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	④ 129	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 48.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
	都市ガス			Nm ³	6	⑦ 4F 00	8=(6/1000)×7	9 0126	(10)=(8)×(9)×44/12
燃				Nm ⁻	10,550.1	45.00	474.8	0.0136	23.7
料	その他()		Ш		0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
765	だ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	211,728.0	9.97	2,110.9	0.4890	103.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみた		よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,585.7		¹⁵ 127.2
その	水道及び工業			m^3	4,413.0			0.2660	1.2
他	公共下水道			m^3	4,413.0			0.4000	1.8
		合 計							¹⁶ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

1	批式油品	3.ルナ4.盆	の実施出	□ (4
4	1111 1111 11111	F11/3/1 束	びま加刀	√7π′.

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A208	組織横断的な推進体制の整備
組組	織体制の整備				
/ /	NATIONAL SECTION				
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の	D100	(大) (大) (大) (大) (大) (大)	Dioo	ZEZO) / TEX DIXINOTEE
(史)	用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C503	利用客数の時間帯別把握
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省		C508	空室・不在時等の空調停止		
工					
ネル					
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D104	王顺之力, 47.1月11月11八月	D100	1大人/フィ/アク V21月110 小小人
策	設備保守対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	以用诗八八八				
					_

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_		_		
	ベンチマーク区分	ラン	ンク	CO ₂ 削減率(前年度は		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積	賞当た kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内	特記事項に内容を記載					

6	特記事項

・閉校した旧飯倉小学校の一部を使用。・東麻布学童クラブ、みなと保育サポート東麻布を併設している。・ 教育委員会所管のつばさ学級を併設しているが、本報告には含まれていない。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

	7 /17																		
事	業所	等	の名	称	品丿	駅	R港i	南□	公	共馬	i 車	場							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	4	0					
	W		/		₹	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	外在	E地	町纟以	名番	F 地 下	港南	ī2-1										
事	業所等	等の	延床面	面積		8,	844.	.33	m^2	事:	業 <i>戸</i> ネノ	了等 レキ	の :	実 ん 使	責年度 用期	で 間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	•						
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [] 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	Ě施	設(物販)		□商業施設	(飲食	<u>;</u>)
		途				工均	易					複合	合施	設			●その他		
	本標 おける				6	9	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒			設			E可能 【のS		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	危価値
前か	年度らる			n 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	① 63	kl
一些人儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 125	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	^④ 125	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 14.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			灰川		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> N1	べ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	125,892.0	9.97	1,255.1	0.4890	61.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	130,599.0	9.28	1,212.0	0.4890	63.9
/\\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	規則第5条の17第3項の場合のみが		よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁴⁾ 2,467.1		125.4
その	水道及び工業			m^3	148.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			m^3	148.0			0.4000	0.1
		合 計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

	地构作画版门口门	714 - 747	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □ ⟨	並み生の動性	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 7	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
エ				C510	その他設備の不使用時の停止
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策				
	以湘等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_				
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t				
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項
()	4T m - 112

・ガスの使用はなし。中央熱源設備、厨房は設置していない。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

1	事業所	垒	の概	要
Т.	 	7	マンルル	333

事	業月	近 等	の名	新	麻	 有十	番:	公共	:駐	車場	<u>크</u>								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	ĺ	0	0	4	1					
					₹	1	0	6	_	0	0	4	5	区ī	市町村	† 名	東京都港区		
事	業別	等(の所有	王地	町夕以	名番	地 下	麻布			4-10								
事	事業所等の延床面積 11,740.00 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満																		
所	- 7	有	形	態		自己	己所	有] 化	也者所	听有	•						
報	4	士	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕	と物(カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(その個	也)
報	告範	囲の	主た	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)													
		途			□ 工場 □ 複合施設 ■ その他														
			産業タ 分類る		6	9	3	1		鎖化	事				直営 店		□ 加盟店	■非	該当
再の	生可 利	能工用	ネル: 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設		再生電気	三可能	能工 受入	ネルギ	_	□ 証書によ の利用	る環境価値	値
前か			報告 変 更																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	186	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		364	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	364	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	31.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
<i>T</i> N1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	404,437.0	9.97	4,032.2	0.4890	197.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	333,373.0	9.28	3,093.7	0.4890	163.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	8,585.0	9.76	83.8	0.4890	4.2
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 7,209.7		⁽¹⁵⁾ 365.0
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	1,009.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			m^3	1,009.0			0.4000	0.4
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

4	地冰価吸信剂	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □	並はとこの動性	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和丑月	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
))) (d)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
エ				C510	その他設備の不使用時の停止
ネルバ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	机供用点料体	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
束	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	_	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	設備導入対策				
	以用等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_					
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%					
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

6	特記事項

・ガスの使用はなし。24時間稼働の施設である。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

1	事業所	垒	の根	F 要
	T 75 //	7	マンル	1435

事	業所	等	の名	称	エコ	コプ	ラザ	2										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	4	2				
					Ŧ	1	0	5		0	0	1	3	区ī	市町村の	宮 東京都港区	<u>.</u>	
事	業所	等の	所有	E地	町以	名番	地下	浜杠	〉町1									
事	事業所等の延床面積 4,630.98 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満																	
所	有		形	態		自己	己所	有] 他	1者	折有						
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の-	一部(その	他)
報	告範圍	里の	主たる	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)									殳(飲食)			
		途				工均	易					複合	計施	設		■ その他		
	本 標 おける				8	2	1	3		鎖化	(事	業区	分		直営 店	□ 加盟局	≣ ■ 非	該当
再2	生可能 利	ピエ. 用	ネルジ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書に の利用	よる環境価	値
	年度 ら 0			7 容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 70	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 136	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 29.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の日	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	194,784.1	9.97	1,942.0	0.4890	95.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	85,045.0	9.28	789.2	0.4890	41.6
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 2,731.2		136.8
その	そ 水道及び工業用水道			m^3	307.0			0.2660	0.1
他 公共下水道			m^3	307.0			0.4000	0.1	
合 計									0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
火口 ∜	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
形 丛 7	戦 平 前 グ 笠 /浦	A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		D101	白さ1 モヨやお体却に甘る2冊根	D104	511/# >* 1.) > 54 √m) > 4m 4円
エン	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
エ				C503	利用客数の時間帯別把握
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ルギ				C510	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
×					
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	成 /			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%		
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載					

6	特言	2事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。・シティハイツ神明を併設している。

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業月	デ等	の名	称	みれ	なと	リサ	イク	ル	青掃	事剂	务所								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	4	3						
					₹	1	0	8	-	0	0	7	5	区ī	市町村	名東	京都港区			
事	業所	等の	の所在	E地	町彡以	名番	F 地 下	港南	i 3−9											
事	業所	等の	延床面	面積		10,	438.	.98	m^2	事:	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実績 使	青年度(用期	か 間	┃1年度分] 1年	未満
所	丰	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	也者所	听有	•							
報	겉	î	範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕	と物の	カー	部(テナ	-ント)		建物の一	·部(-	その他	拉)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)		商業施設	(飲	食)	
		途				工均	易					複合	合施	設		I	その他			
に	おける	5細:	産業分 分類番	昏号	8	8	1	7		鎖化	(事	業区	分		直営 店		加盟店		非調	该当
再の	生可 ['] 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 発電			設			E可能 【の§		ネルギー		証書に。 の利用	よる環	境価値	直
前か	_		设告卢 変 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	127	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		243	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	5	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	248	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	23.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の日	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	27,252.9	45.00	1,226.4	0.0136	61.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	が その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	372,563.0	9.97	3,714.5	0.4890	182.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 4,940.8		⁽¹⁵⁾ 243.3
その	そが道及び工業用水道			m^3	8,475.0			0.2660	2.3
他 公共下水道			m^3	8,715.0			0.4000	3.5	
A 計									5.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化対	K V X M	重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善				
ψπιά	かんりの動体								
組育	織体制の整備								
	L , W # 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握				
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握				
1,	13 47 76 -> 16 14	B105	エネルギー使用量の前年度比較						
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示				
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止				
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止				
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止				
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止				
省				C129	季節に応じた温度設定の見直し				
エ				C523	蒸気の漏れ・保温の管理				
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検				
ルギ									
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃				
対等	設備保守対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整				
水	政师体与对来			D108	その他設備の定期的な保守・点検				
				E129	全熱交換器の導入				
	設備導入対策								
	ESC VIII 447 CV1 VIC								

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載	烖		

6	特記事項			

・雨水利用のため下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

	4 /14																		
事	業彦	等	の名	称	区征		本	宁솥	҈₽ŧ	会	棟								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	4	4					
	VII		/		₹	1	0	5	_	8	5	1	1	区ī	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の) 所 在	E地	町夕以	名番	f 地 下	芝生	⟨園1	-5-2	25								
事	業所等	等の	延床面	面積		33,	573.	.00	m^2	事	業 <i>戸</i> ネ <i>ァ</i>	下等 レキ	の <u>'</u> -	実 ん 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	3所	有		〕他	1者月	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食	£)
		途				工均	易					複合	}施	設			こその他		
	本 標 おける				9	8	2	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可育	能工 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 土 / 電設 (設			E可能 【の多		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値
前か	年度らい			n 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	^① 918	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 9	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 1,759	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 52.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	102,928.4	45.00	4,631.8	0.0136	231.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	3,106,966.0	9.97	30,976.5	0.4890	1,519.3
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 35,608.2		1,750.3
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	13,243.0			0.2660	3.5
他	公共下水道			m^3	15,214.0			0.4000	6.1
		合 計							9.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		·	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆口 ≪	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土 7	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L , W # 0	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
				C108	温度計等による室温の把握と調整
省				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
工				C123	温湿度の適正管理
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
1		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	以佣体与为来	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	二二/共/关 ュ エニかか			E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載	烖		

6	特記事項

・雨水使用のため、下水が多い。・太陽熱の給湯設備を設置している。・センサーによるエリア毎での空調制御、調光を行っている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

車	業所	至	の 夕	称	宣制	益但	点点	割												
7	* 17	1 1	V) 1	1 4/1,	1111	州小	、月1													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	3						
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	4	区ī	市町村	名 東京	「都港区			
事	業所	等の	所有	E地	町夕以	名番	地 下	尚幣	` 3−1											
事	業所等	等の?	延床面	面積		2,	880.	.36	m^2	事	業	〒等レギ	の <u>}</u> :	実 種 使	青年度(用期	万 間	1年度分] 1年	未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有								
報	告	•	範	囲		建物	勿の	全部	S [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ 殞	き物の一	·部(その作	池)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□商	育業施設	(飲	食)	
		途				工均	易					複合	}施	設		■ そ	の他			
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店		■非	該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 設 (設			ミ可能		ネルギー		証書に。 の利用	よる環	境価	値
前 か	年度らる	の す り 変		7 容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	108	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		206	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=®)	3	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	209	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	71.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	(8)=(6)/1000)×(7)	9	(c) (0)=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Tive	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	422,211.1	9.97	4,209.4	0.4890	206.5
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 4,209.4		206.5
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	5,519.4			0.2660	1.5
他	公共下水道			m^3	5,519.4			0.4000	2.2
		合 計							¹⁶ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地冰価吸信剂		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
∀ □	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
形土 7	戦性的の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
) 18 to 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
100 /	11 4/4 1/2 1/2 1/2	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
省		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
日上		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
ネ		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
ルギ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
朿	政源体立对来				
		_		_	
	設備導入対策				
	以州等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_			
	ベンチマーク区分	ランク		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事	百
"	44 HI - 11 - 11 - 1	

・高輪いきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)、高輪児童館(区が運営・管理)を併設。・地中熱設置施設

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

_																				
事	業彦	等	の名	称	みた	なと	保候	朓												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	4						
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	3	区ī	市町村	名 東京	「都港区			
事	業所	等 <i>Œ</i>	所有	E地	町以	名番	地下	二旦			番10									
事	業所	等の	延床面	面積		7,	525.	.42	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>}</u> 	実 種 使	青年度(用期	万 間	1年度分] 1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	3所	有] 他	1者月	折有								
報	华	î	範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ 建	は物の―	·部(-	その作	也)
報	告範目	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□商	新業施設	(飲	食)	
		途				工均	易					複合	}施	設		■ そ	の他			
			ミ業 分類 番		8	4	1	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店		非	該当
再の	生可i 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				を出る		設		再生電気			ネルギー		証書に。 の利用	よる環	境価	値
		の す の	品告卢 医 更	n 容 点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 120	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一酸化灰素 排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	④ 234	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 30.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
LAL	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
がい	その他()				0.0				
	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	370,064.0	9.97	3,689.5	0.4890	181.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	104,963.0	9.28	974.1	0.4890	51.3
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁴ 4,663.6		232.3
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	3,504.0			0.2660	0.9
の他	公共下水道			m^3	3,701.0			0.4000	1.5
		合 計	-						¹⁶ 2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
公□ ≤	織体制の整備			A208	組織横断的な推進体制の整備
形丑. 7	取 平 刑 少 歪 佣				
	de la	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
2	17 / 10 2 3 1 3 1				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
エ		C508	空室・不在時等の空調停止	C521	利用客数別燃料使用量の把握
ネ				C525	利用客数別水道使用量の把握
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	以佣杯与为来	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	展 佣 等八 州 州			E126	窓際照明の連続調光制御
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面積当た		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t
その他 特記事項に内容を記載					

6 特記事項				
•地中熱設置施	设。			

1	事業所	空	の梱	更
1	# * 7	7	マン海	14

_	3 //	121 .4	1000	_															
事	業彦	等	の名	称	神	明レ`	きレ	き	プラ	ザ									
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	5					
+	MY →	<i>b-b-</i>		. 111.	₹	1	0	8	_	0	0	7	3	区	市町	村名	東京都港区		
爭	業	等 ()	所在	: 地	町 以	名番	* 地 下	п	1-4										
事	業所等	等の3	延床面	ī積		9,	907.	.24	m^2	事	業 <i>戸</i> ネ <i>ァ</i>	f等 レギ	の <u>'</u> ` _	実 を 使	責年. 用 其	度の 朝間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	3所	有] 他	1者	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	- ント))	□ 建物の-	・部 (そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	用		事務	务所					商業	削	設(物販)	□ 商業施設	と(飲食	()
		途				工場	易					複合	}施	設			■その他		
			主業分 分類番		8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直焓店	í.	□ 加盟店		非該当
再の	生可食	能工. 用	ネルキ 状	デー 況			- 円 F - 発冒			設			三可能		ネルコ	ř–	□ 証書に の利用	よる環状	竟価値
前か		の 教 り 変	设告内 区 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 273	kl
一颗化岩	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 6	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	^④ 526	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	52.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	1,064,492.5	9.97	10,613.0	0.4890	520.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 10,613.0		⁽¹⁵⁾ 520.5
その	水道及び工業	 作用水道		m^3	9,170.3			0.2660	2.4
他	公共下水道			m^3	8,954.1			0.4000	3.6
		合 計							6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	<u> おきおい(m.b/g 11. か) が Vノーナ がはれた (ル.</u>

4	地球温暖化对	K V X M	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A209	都などの無料の相談機関の利用
4H 4	# / . that ~ #6 /#	A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
組着	織体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
		DIAF	- ウィギ 佐田県の芝佐佐山林	D100	1911年ので、カストフ紹介の押根
エン	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
使丿	用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
				C123	温湿度の適正管理
	運用対策				
省					
エネ					
ル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	以佣木与为水	D104	空調フィルターの清掃・点検		
				F100	
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択) CO ₂ 排出量(延床面		$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項

・神明子ども中高生プラザ(指定管理者が運営・管理)、神明保育園(区が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。・ガスの使用なし。ボイラーの設置なし。地中熱設置施設。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業所	等	の名	称	港區	有子	ども	中	高生	ミプ	ラザ	?							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	6		_			
	VII.4	£164 _	/		Ŧ	1	0	8		0	0	7	5	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等 0	外在	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	港南	i 4-3										
事	業所等	等の多	延床面	面積		6,	875.	.32	m^2	事	業 <i>戸</i> ネノ	了等 レキ	の :	実 ん 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	5用		事	务所					商業	Ě施	設(物販)] 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	合施	設			その他		
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒			設		再生電気	三可能	能工. 受入	ネルギー		□ 証書によ の利用	る環境	6価値
前か	年度らる		设告内 泛 更	可 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	145	kl
一些小儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		277	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	4	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	281	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	40.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	(8)=(6)/1000)×(7)	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	5,564.1	45.00	250.4	0.0136	12.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	541,004.0	9.97	5,393.8	0.4890	264.6
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 5,644.2		¹⁵ 277.0
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	7,311.0			0.2660	1.9
他	公共下水道			m^3	7,244.0			0.4000	2.9
		合 計							4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ 4	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
水土 7	戦性的の登漏			A216	所内会議・研修会等で報告
	A LI AT A	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
2	11 46 55 3 15 35			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
エ				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
ネ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	政师床与对承	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	以州诗八八八水			E104	照明点灯範囲の細分化
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載	戈					

6	Ħ	焅	뺡	耳	E	項
()	-	7	ml		₽-	~ 🖂

・たかはま保育園を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水を使用しているため、下水が多い。 ・地中熱設置施設

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業月	斤等	の名	称	檜田	打公	園										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	5	8			
					Ŧ	1	0	7	_	0	0	5	2	区ī	市町村名	五 東京都港区	
事	業所	等 0)所有	E地	町夕以	名番	地 下	赤坂	到了			-					
事	業所	等の	延床面	面積		16,	370.	.00	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 ん 使	責年度 ∅ 用期間	1年度分	□ 1年未満
所	1	Ī	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有	•				
報	슅	i i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	:(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
			産業 欠 分類 番		8	0	5	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設			三可能		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か			设告内 変 更	n 容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	⊕ 38	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 6	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 4.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
244J.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	150,340.0	9.97	1,498.9	0.4890	73.5
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,498.9		73.5
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	9,533.0			0.2660	2.5
の他	公共下水道			m^3	9,533.0			0.4000	3.8
		合 計							6.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

	地球温暖化対	710 - 2 0,71	重点交	 対策			そのも	也対策		
									////////////////////////////////////	
		八水田刀	,	V1 /K-/II		71水田	· J	ハネコ		
組	織体制の整備									
T	ネルギー等の	B102	関連他者から	の情報を加え	て把握	B106	過去のデー	ータによる傾	向の把握	
使	用状況の把握									
	_									
						C120	外灯等の点	点灯時間の季	≦節別管理	
省工	運用対策									
一ネ										
ルギー対										
	設備保守対策									
対策										
	設備導入対策									
					_		-			
実績	責年度の目標達	成の状況	□目標達	成した。						
	提出年度の地			標						
目	標の有無	_	無		-			-	1	
		ベンチマー	ーク区分		ランク	С	O ₂ 削減率(前	年度比	%	
目材	票値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た			kg-C0		O ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)		t	
		<u>-</u> その他		特記事項	記事項に内容				•	
				14 10 1 7 1						
G	胜到市伍									
6	特記事項									
	イキュエ 番ん ロシー・ペーン・		7							
面	積は敷地面積を入	人力している	5.							

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業所	等	の名	称	高車	输子	ども	中	高生	ミプ	ラザ	:					
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	5	9			
					Ŧ	1	0	8		0	0	7	4	区ī	市町村名	4 東京都港区	
事	業所	等の	所有	E地	町以	名番	地下	尚幣	1-4								
事	業所等	等の	延床面	面積		3,	297.	12	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度 ∅ 用期間	1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有	•				
報	告	Ì	範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	·部(その他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
			を業分 分類者		8	5	3	1		鎖化	(事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^は 状	ギー 況				記記		設		再生 電気			ネルギー	□ 証書に』 の利用	よる環境価値
前 か		の す の 変	品告卢 夏 更	7 容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	53	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		103	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	104	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	31.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(i)=8×9×44/12
244J.	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	171,612.0	9.97	1,711.0	0.4890	83.9
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	40,444.7	9.28	375.3	0.4890	19.8
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,086.3		103.7
その	水道及び工業	美用水道		m^3	2,060.0			0.2660	0.5
の他	公共下水道			m^3	2,060.0			0.4000	0.8
		合 計							1.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

	地构作画版门口门	2,1.	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □	並は割の動性			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和丑月	職体制の整備			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
))) (to	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運 用 対 策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
コエ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策				
來	以用床り刈水				
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	以 畑 等 八 刈 水			E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載						

6 特記事項

- ・当該施設は、指定管理者が運営・管理。 ・空調機を時間帯別に完結運転を行った。 ・朝の清掃時には消灯した状態で作業し、点灯箇所を必要最低限とした。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	等	の名	称	桂块	坂保	<u></u> 育	室(港区	保	育室	℥)					
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	6	1		<u> 11</u>	
	AIV -1-	<i>t-t-</i>		. 11.	₹	1	0	8		0	0	7	4	区ī	市町村名	名 東京都港区	
事	業所	等 0	外在	土地	町 <i>/</i> 以	名番	F 地 下	高輔			9番3						
事	業所等	争の多	延床面	面積		2,	201.	.27	m^2	事	業 戸 ネ ノ	了等 レキ	の <u>;</u> : _	実 使	責年度(用期間	D ■ 1年度分	□ 1年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者)	听有					
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	物	カー	部(テナ	-ント)	□ 建物の一	·部(その他)
報	告範	里の	主たる	5用		事	务所					商業	Ě施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区			直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能 利	ピエ. 用	ネル ^ュ 状	デー 況			- 円 F - 発冒			設		再生電気	三可能	能工 受入	ネルギー	□ 証書に。 の利用	よる環境価値
前か	年度ら		と 告 内 ど 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	57	kl
一些人儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		111	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	114	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	50.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	5,321.4	45.00	239.5	0.0136	11.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
-	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/\(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	202,636.0	9.76	1,977.7	0.4890	99.1
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,217.2		111.0
その	水道及び工業	美用水道		m^3	5,753.0			0.2660	1.5
他	公共下水道		m^3	5,753.0			0.4000	2.3	
		合 計							3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の実施状況

		重点対策		その他対策
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
単体 生の 東 借	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
戦性間の電温				
よった なん	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
			B107	主要設備の使用状況の把握
17 / () 2 / 2 / 2 / 2				
	C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
			C123	温湿度の適正管理
運用対策			C132	開け放し開口部面積の縮小
			C116	個人用端末の不用・離席時の停止
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
			C130	エレベータ運転台数の制限
			C510	その他設備の不使用時の停止
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
設備保守対策				
双闸水门刈水				
			E105	照明用人感センサの採用
製備道 7. 対等				
双 佣 等 八 刈 來				
	一 され (本)一 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	A202 A203 A203 B102 B102 C109 C504 E 用 対 策 D104 設備保守対策	対策番号 対策名 A202 温暖化対策推進担当の配置 A203 具体的な取組目標と内容の設定 A204	対策番号 対策名 対策番号 A202 温暖化対策推進担当の配置 A205 A203 具体的な取組目標と内容の設定 A211 A204 関連他者からの情報を加えて把握 B106 B107 B102 関連他者からの情報を加えて把握 B106 B107 C504 利用状況に応じた空調の設定変更 C108 C112 C123 C132 C132 C116 C117 C130 C510 D104 空調フィルターの清掃・点検 D105 設備保守対策 E105

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	戈	

O 作					
	寺記事項				

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業別	デ 等	の名	称	芝信	呆育	園										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	6	3		_	
					₹	1	0	5	-	0	0	1	3	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等の	所有	E地	町夕以	名番	F 地 下	芝5	丁目								
事	業所	等の	延床面	面積		1,	123.	.49	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度の 用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有					
報	- 4	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	合施	設		■ その他	
			医業分 分類個		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可i 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況			- 円 F - 発冒		帯の	設			E可能 【のS		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度らい		设告内 定 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 84	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 8	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 144.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7		(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	25,481.0	45.00	1,146.6	0.0136	57.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()	- の他()			0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	162,644.5	9.97	1,621.6	0.4890	79.5
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	53,594.2	9.28	497.4	0.4890	26.2
/ (その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						⁽¹⁴⁾ 3,265.6		162.9
その				m^3	12,346.6			0.2660	3.3
他				m^3	12,346.6			0.4000	4.9
		合 計							⁽¹⁶⁾ 8.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	<u> おらない (m b友 11 , x) タヒ ∀フ x /ロヒ イン (7)</u>

4	地球温暖化对		<u> </u>		この4分学
					その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
% □ %	職体制の整備				
形土 月	戦性制の登加				
)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
IX.	11 1/1 1/1 0/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
五				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対					
策	設備保守対策				
				E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項
()	4T m - 112

・みなと子育て応援プラザPokkeを併設。区分所有(都営住宅と併設)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業所	等	の名	称	伊』	Ⅲ子	坂	保育	園								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	6	5			
					₹	1	0	8	_	0	0	7	3	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等の	所在	E地	町彡以												
事	事業所等の延床面積 1,664.82 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年末満																
所	有	•	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有											
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ 建物の一	·部(その他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商業	É施	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	計施	設		■ その他	
			ミ業分 分類番		8	5	3	1		鎖化	(事				直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再2の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生 電気			ネルギー	□ 証書に』 の利用	よる環境価値
		の す り 変	设告内 医 更	可 容 点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	48	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		92	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	94	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	55.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	(8)=(6)/1000)×(7)	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	18,675.8	45.00	840.4	0.0136	41.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	103,956.0	9.97	1,036.4	0.4890	50.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,876.9		92.7
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	3,397.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			m^3	3,397.0			0.4000	1.4
		合 計							⁽¹⁶⁾ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
公日 幺	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水丘. 水	戦 平 門 ジ 歪 浦				
~ ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ポルキー 等の 目状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C132	開け放し開口部面積の縮小
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
エ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ネ				C510	その他設備の不使用時の停止
ルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	政师床与对承			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以用等八刈水			E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無									
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%					
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)							
	その他	特記事項に内容を記載								

6 特記事項			

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

_	3 // ~	> 1 .4	- 100																
事	業所	等	の名	称	芝:	公園	保	育園											
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	6	9					
	ᆀᄉ ᆜᄼ	<i></i>	<u>-</u>	• 11l-	Ŧ	1	0	5	_	0	0	1	1	区	市町村	寸名	東京都港区		
事	業所	等 (7)) 所 召	土地	町夕以	名番	F 地 下	芝生	\$園2										
事	事業所等の延床面積 2,649.71 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年未満																		
所	有		形	鵝		自己	己所	有] 他	1者	折有	•						
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕殖	き物の	カー	部(テナ	ーント)		□建物の一	部(そ	の他)
報	告範圍		主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食	£)
		途				工均	易					複合	合施	設			●その他		
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	ピエノ 用	ネル ^ュ 状	デー 況				E 土 / 直設(帯の	設			ミ可能 【の多		ネルギ	_	□ 証書によ の利用	る環点	竟価値
前 か	年度 ら 0			容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1)	73	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		140	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	141	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	52.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	22,754.1	45.00	1,023.9	0.0136	51.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	182,700.0	9.97	1,821.5	0.4890	89.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽⁴⁾ 2,845.5		⁽¹⁵⁾ 140.4
その	水道及び工業			m^3	2,525.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,525.0			0.4000	1.0
		合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地球温暖化对	東の夫別			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
公日 幺	職体制の整備				
水丘川	戦 平 門 ジ 歪 浦				
<u> </u>	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ポルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C130	エレベータ運転台数の制限
エ					
ネル					
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
ж	以				
				E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E141	太陽光発電設備の導入
	EV NU 447 (VI) VK				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無				_	
	ベンチマーク区分	ランク CO ₂ 削減率(前年度)				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項

・照明は調整機能を使用し、明るさの微調整を行っている。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業別	デ 等	の名	称	芝剂	甫橋	保	育室	₹(港	*区	保育	室)						
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	0		_			
				·	Ŧ	1	0	8	-	0	0	2	3	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	所在	三地	町夕以	名番	地 下	芝浦							ごル2階				
事	業所	等の	延床面	面積		1,	501.	.45	m^2	事	業 戸 ネ ノ	了等 レキ	の <u>;</u> -	実績 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	□ 1年	未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有		■ 他	1者月	听有							
報	븯	î	範	囲		建物	勿の	全剖	3	■ 殞	物	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一部	羽(その他	拉)
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所					商美	 能施	設(物販)] 商業施設(飲食)	
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
			医業分 分類番		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■非	该当
再の	生可i 利	能工 用	ネル ^ュ 状	デー 況			- 予 - 発官		帯の	設			E可能 【の§		ネルギー	-	□ 証書による の利用	る環境価値	直
前か	年度らい		设告内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	1	61	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		117	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	118	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	\$	77.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	240,681.0	9.97	2,399.6	0.4890	117.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 2,399.6		¹⁵ 117.7
その	水道及び工業			m^3	1,728.0			0.2660	0.5
他	公共下水道			m^3	1,728.0			0.4000	0.7
		合 計							1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

		.	
4	1441年14日日	4/レ計学	の実施状況
4	1115 1215 (MI 117	로기[, X\ 187	U 1 X /mi 1 / 1 / 1 / 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A208	組織横断的な推進体制の整備
公日 公	織体制の整備				
小丘〃	₩ 仲 III ♡ 走 III				
	ウィギ 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
2	13 17 10 10 10 10 10 10			B107	主要設備の使用状況の把握
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策			C110	余熱利用による早めの空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
省				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
エ				C129	季節に応じた温度設定の見直し
ネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
朿	政源体引为承	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	以用等八刈水			E129	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特記事項				

・区分所有(民間ビル)。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の根	F 要
	事 を111	7	マンル	1435

事	業彦	デ 等	の名	称	麻石	布子	ども	中	高生	Eプ	ラザ	?							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	7	2					
				,	Ŧ	1	0	6	-	0	0	4	7	区	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の) 所 在	E地	町夕以	名番	F 地 下	南席	₹布4										
事	業所等	等の	延床面	面積		5,	017	.91	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 を 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	☐ 1 ⁴	年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有] 他	1者月	听有							
報	告	i	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一	部(その	他)
報	告範[囲の	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	合施	設			●その他		
			を業分 分類者		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■ 非	丰該当
再の	生可育 利	能工 用	ネル ^は 状	ギー 況				企业。 直 設(設			E可能 【の§		ネルギー	_	□ 証書によ の利用	る環境値	近
前か	年度らい		设告卢 芝 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 136	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	4 267	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	52.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	45,872.6	45.00	2,064.3	0.0136	102.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	258,482.7	9.97	2,577.1	0.4890	126.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	69,683.3	9.28	646.7	0.4890	34.1
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ³ kWh		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
금 計						⁽¹⁴⁾ 5,288.0		263.4	
その	水道及び工業			m^3	5,325.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			m^3	6,678.9			0.4000	2.7
		合 計							4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	715 81 1111 112 11 1 AT 18 V 2 3 3 115 11 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
♦□ ♦	並み生の動性	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
和上有	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築		
	711 th 0	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C503	利用客数の時間帯別把握
	運用対策			C510	その他設備の不使用時の停止
省					
エネ					
ホルギ					
1				D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
×	EX MILEN A MAN				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	烖	

6	特言	2事項

・本村保育園(区が運営・管理)、ありすいきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)を併設。当該施設は指定管理者が運営・管理している。・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業彦	デ 等	の名	称	西原	麻布	î۷٦	きい	きフ	゚゚ラţ	ヂ								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	3					
	VII.C	<i>tete</i> -	/		Ŧ	1	0	6	_	0	0	3	1	区ī	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等 0.	外在	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	西席			目13								
事	業所等	等の	延床面	面積		4,	723	.89	m^2	事	業 戸 ネ ノ	了等 レキ	の 🤄	実 種	責年度 用 期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	3所	有		〕他	1者月	听有							
報	告	Ì	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	物	カー	部(テナ	-ント)]建物の一	部(そ	の他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食	ϵ)
		途				工均	易					複合	}施	設			その他		
	本 標 おける				8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				E 土 / 直設(設		再生電気	ミ可能	能工 受入	ネルギー	•	□ 証書によ の利用	る環境	竟価値
前か	年度らい		设告内 医 更	n 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 117	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	④ 230	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 47.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の) 種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
444.	都市ガス			Nm^3	35,030.6	45.00	1,576.4	0.0136	78.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	245,096.0	9.97	2,443.6	0.4890	119.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	31,053.0	9.28	288.2	0.4890	15.2
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	25,673.0	9.76	250.6	0.4890	12.6
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 4,558.7		226.2
その	水道及び工業			m^3	7,336.5			0.2660	2.0
他	V 11 1 /24			m^3	7,517.8			0.4000	3.0
		合 計							5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
♦□ ♦	並み生の動性			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
和土市	織体制の整備			A215	優良事例の組織内共有体制の構築
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の			B106	過去のデータによる傾向の把握
(史)	用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C317	その他設備の不使用時の停止
エネ					
ルギ					
ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
/15					
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)					
	その他	特記事項に内容を記載	烖					

6	F	生	雪	7	Ħ	項
r)	-	М.	FI.	7.5	₽	ᄱ

・西麻布保育園(区が運営・管理)、子育てひろばあっぴい西麻布(委託業者が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

_																				
事	業月	折 等	の名	3 称	シラ	テイ	ハイ	ツ港	塘	(共	用音	羽)								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	7	5						
	VII	- 1.1.			Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区ī	市町村	名 東京	(都港区			
事	業別	下等(の所で	生地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	港南			-17									
事	業所	等の	延床	面積		8,	627.	.00	m^2	事工	業	了等 レキ	の <u>;</u> -	実績 使	青年度(用期	万 間	1年度分	[] 1年	三未満
所	7	有	形	態		自己	己所	有] 他	1者	折有								,
報	4	芋	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建	き物の一	·部(その	他)
報	告範	囲の	主た	る用		事	务所					商業	削	設(物販)	□商	5業施設	분(飲	(食)	
		途				工均	易					複合	}施	設		■ そ	の他			
			産業 須 分類		6	9	2	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店	•	■非	該当
再の	生可	能エ 用	ネル: 状	ギー 況				E 土 / 直設(設		再生電気	E可能 【のS	能工 受入	ネルギー		証書に。 の利用	よる現	環境価	i値
前か			報告 P 変 更																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	^① 92	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 175	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 20.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(軽油))		L	60.0	37.70	2.3	0.0187	0.2
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	357,900.0	9.97	3,568.3	0.4890	175.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/ (その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 3,570.5		⁽¹⁵⁾ 175.2
その	水道及び工業	美用水道		m^3	636.0			0.2660	0.2
他				m^3	636.0			0.4000	0.3
		合 計							0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地	球温暖	化対策の	実施状況
-----	-----	------	------

	地球価唛化刈		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織	職体制の整備				
VATE V	以 件的*/元//				
Τ,	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止		
省					
エ					
ネル					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対等	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
水	及開外り刈水				
	設備導入対策				
	EV NU 447 (VI) VK				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_	_
	ベンチマーク区分	ラン	ンク	CO ₂ 削減率(前年度は	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積	賞当た kg-	$-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	容を記載	- -	

6	特記事項
()	4T m - 112

・シティハイツ港南の報告対象範囲は1階ロビー部分と4階から25階の共用部である。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等	との押	再
Τ.	尹未乃曰	キャノルが	*

_	3 //	.// 1 .4	1-70																
事	業彦	等	の名	称	麻		育	慰											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	6					
+	All¢ → □	<i>b-b-</i>		. 111.	₹	1	0	6	_	0	0	3	2	区	市町	村名	東京都港区		
事	業別	等 0	所在	:地	町以以	名番	F 地 下	/ /4			16-								
事	業所	等の	延床面	ī積		2,	355.	.07	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>}</u> :	実 ん 使	責年 用 非	度の 朝間	■ 1年度分	. [] 1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	3所	有] 他	1者月	折有	•						
報	华	i i	範	囲		建物	勿の	全剖	S [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	- ント))	□ 建物の-	-部(-	その他)
報	告範	囲の	主たる	用		事	务所					商業	削	設(物販)	□ 商業施設	设(飲:	食)
		途				工均	易					複合	}施	設			■その他		
			主業分 分類番		8	5	3	1		鎖化	(事	業区	分		直常店	í i	□ 加盟店	i I	▮非該当
再の	生可i 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				記記		設			E可能 【の多		ネルコ	デー	□ 証書に の利用	よる環	境価値
前か		の 新 の 変	设告内 区 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 85	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭素	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
排 出 量	総計(④=②+③)	^④ 165	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 69.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
.444.	都市ガス			Nm^3	21,987.5	45.00	989.4	0.0136	49.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	200,663.0	9.97	2,000.6	0.4890	98.1
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	33,670.0	9.28	312.5	0.4890	16.5
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁴⁾ 3,302.5		163.9
その				m^3	3,568.0			0.2660	0.9
他公共下水道				m^3	3,857.0			0.4000	1.5
		合 計							⁽¹⁶⁾ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土 形	戦性的の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
) 18 to 5	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
100 /	11 10 10 10 10				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
省				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C503	利用客数の時間帯別把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	政师体与对外	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				
	以用等八刈水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当7	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	戈	

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	斤 等	の名	称	しん	 ずうら	5保	育園	11-47										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	7					
					₹	1	0	8	_	0	0	2	3	区ī	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	の所有	E地	町彡以	名番	F 地 下	< <u>~1</u> H	第3丁										
事	業所	等の	延床面	面積		6,	597.	.53	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レギ	の <u>'</u> -	実 種 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分	□ 1:	年未満
所	1	Ī	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有							
報	-	Ė,	範	囲		建物	勿の	全剖	S [] 殖	物	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一	部(その)他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商美	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	}施	設			■その他		
に	おけん	る細	を業分 分類者	番号	8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■ ‡	丰該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 設 (設			ミ可能		ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境値	五値
前か	_		设告卢 変 更	內容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	^① 339	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	4 615	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 92.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	4,059.0	45.00	182.7	0.0136	9.1
燃料	その他(産業用	月以外の蒸気)		MJ	2,475,019.0	1.36	3,366.0	0.0600	148.5
及	その他(冷水))		MJ	2,630,800.0	1.36	3,577.9	0.0600	157.8
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	606,268.0	9.97	6,044.5	0.4890	296.5
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 13,171.1		611.9
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	6,038.0			0.2660	1.6
他	公共下水道			m^3	6,038.0			0.4000	2.4
		合 計							4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
紀紀	職体制の整備			A208	組織横断的な推進体制の整備
WATE V	或 [平] [7] 正 [III				
	22 //	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運 用 対 策				
省					
エネ					
ホルギ					
+		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
朿	议佣体订为	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	12 - 214 14 7 - 2 4 2 14			E135	エレベータのインバータ制御
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無								
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t				
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項

・地域冷暖房の使用がある。・あっぴい芝浦(委託業者が運営・管理)を併設している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の根	F 要
	事 を111	7	マンル	1435

事	業月	近 等	の名	3 称	赤垣	汳保	!育[園										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	2				
					₹	1	0	7	-	0	0	5	2	区ī	市町村名	東京都港区		
事	業所	等(の所有	生地	町夕以	名番	F 地 下	赤埸	₹5-									
事	事業所等の延床面積 792.56 m ² 事業所等の実績年度の ■ 1年度分 □ 1年未満																	
所	7	自	形	態		自己	己所	有] 他	1者)	听有	•					
報	<i>F</i>	片	範	囲		建物	勿の	全剖	ß	〕 殞	物	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)	
報	告範	囲の	主た	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)								(飲食)				
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他		
			産業タ 分類を		8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当	
再の	生可 利	能エ 用	ネル: 状	ギー 況			- 予 - 発官		帯の	設			E可能 【の§		ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値	
前か	年度ら		報告 摩															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	30	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		59	t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	60	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	74.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	(宋 级	(t) 10=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	14,516.3	45.00	653.2	0.0136	32.6
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
Tive	べ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	54,123.0	9.76	528.2	0.4890	26.5
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,181.5		¹⁵ 59.0
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,673.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,673.0			0.4000	1.1
		合 計							1.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆□ ﴿	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土市	戦性間の電漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
12	11 10 10 10 10			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C133	可能な限り低い照度設定
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
工				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ					
ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	政源体与对象				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E110	高効率モータの導入(空調用)

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5	提出年月	まかのま	温暖化	対策の	日標

目標の有無	□有■無				_		
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度)				
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)				
	その他	特記事項に内容を記載					

5 特記事項			

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	近 等	の名	称	元月	麻布	i保 [·]	育園											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	0					
					₹	1	0	6	_	0	0	4	6	区ī	市町村	名	東京都港区		
事	業所	等の	か所有	E地	町彡以	名 番 地 元麻布2-14-12													
事	業所	等の	延床面	面積		3,	087.	.72	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レギ	の <u>;</u> -	実績 使	責年度 用期	の間	■ 1年度分		1年未満
所	7	盲	形	態		自己	己所	有] 他	1者)	折有							
報	<i>E</i>	片	範	囲		建物	勿の	全部	S [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		〕建物の一	部(その	の他)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商美	 能施	設(物販)] 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複台	合施	設			●その他		
に:	おけ	る細	崔業兒 分類番	昏号	8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況				記記		設			E可能 【の§		ネルギー	,	□ 証書によ の利用	る環境	価値
前か	_		報告 内 変 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 82	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
二酸化炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁴ 160	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 51.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	(示数 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	27,269.3	45.00	1,227.1	0.0136	61.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
2111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	198,186.0	9.97	1,975.9	0.4890	96.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 3,203.0		158.1
その	水道及び工業	美用水道		m^3	3,930.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			m^3	3,930.0			0.4000	1.6
		合 計							2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
√ □ 4	並はとこの動性	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
水 丑 升	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
	よった たん	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
120	17 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	運 用 対 策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
エ				C502	採光を利用した消灯の実施
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	以個体与对象	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E129	全熱交換器の導入
	設備導入対策			E140	BEMSの導入
	以州等八刈水			E141	太陽光発電設備の導入
				E142	太陽熱利用設備の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当7	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項			

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の概	要
Т.	 	7	マンルル	333

	- / / -	· · ·																		
事	業所	等	の名	称	青	山保	!育[園												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	1						
	ᆀᄉ ᆜᄼ	<i>-</i>	<u>-</u>	. 111.	₹	1	0	7	_	0	0	6	1	区ī	市町村	名す	[京都港]	<u>X</u>		
事	業所	等 ()) 所 在	: 地	町以以	名番	F 地 下	1L F			-1									
事	事業所等の延床面積 2,119.77 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満																			
所	有		形	態		自司	己所	有] 他	1者	听有	•							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	S [] 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)		建物の	— 🛱	『(そ	の他)
報	告範圍	目 の !	主たる	5用		事	务所					商業	 能施	設(物販)		商業施	設(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設			その他			
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	事	業区	分		直営 店] 加盟/	店		非該当
再の	生可能 利	ピエ <i>ブ</i> 用	ネルキ 状	デー 況				E 設 (設			ミ可能		ネルギー	_ [コ 証書に の利用		5環境	価値
前 か	年度 ら 0			容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算工	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 63	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水垣及し工来川水垣の民川並して五六十水垣への帰	3 1	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 125	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 58.4	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
					6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	3,672.3	45.00	165.3	0.0136	8.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
mi	*** その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	237,104.9	9.76	2,314.1	0.4890	115.9
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 2,479.4		124.2
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,857.0			0.2660	0.8
の他	公共下水道			m^3	2,857.0			0.4000	1.1
		合 計	-						1.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

4	地冰価吸信剂	21.	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
√ □ 4	・ 電体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
形 <u>比</u> 7	歌作 前の金浦			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C123	温湿度の適正管理
ュ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ				C520	給湯設定と使用場所の温度差把握
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
來	政师体与对来				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E132	エアカーテンの設置
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E141	太陽光発電設備の導入
	以州诗八八八水				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

目標の有無	□有■無				_	
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項

・令和2年3月より青山保育園が移転・赤坂子ども中高生プラザ青山館と併設

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の根	F 要
	事 を111	7	マンル	1435

事	業所	等	の名	称	豊	鄙レ゙	きレ	き	プラ	ザ								
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	1	9				
	W	<i>t-t-</i>			Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	3	区	市町	村名	東京都港区	
事	業所	等 0	外石	E地	町以以	名番	F 地 下	三田	∃5−									
事	業所等	争の多	延床面	面積		1,	607.	.15	m^2	事:	業 戸 ネ ノ	下等 レキ	の <u>:</u> 	実績 使	責年,用事	度の 別間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	有		形	態		自己	3所	有] 他	也者所	听有						
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	と物の	カー	部(テナ	ーント)	[□ 建物の一	部(その他)
報	告範	里の	主たる	る用		事務	务所					商業	 能施	設(物販) [□ 商業施設	:(飲食)
		途				工場	易					複合	合施	設			■その他	
	本標 おける				8	5	4	9		鎖化	(事	業区	分		直営店	i	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可能	ピエ 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				E 土 / 直設(設			E可能 【のst		ネルキ	<u> </u>	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度ら			容点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1	38	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		73	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
	総計(④=②+③)	4	73	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	5.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量 ^{※1}
	771111111111111111111111111111111111111	111/4	使用	1 124	6	7	(E37) (8=(6/1000)×7)	係数 ^⑨	(t) =8×9×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	16,942.6	45.00	762.4	0.0136	38.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2011	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	71,962.7	9.97	717.5	0.4890	35.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
승 計						⁽⁴⁾ 1,479.9		¹⁵ 73.2	
その	のが追及し工業用が追			m^3	2,095.3			0.2660	0.6
他				m^3	1,076.9			0.4000	0.4
		合 計							1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

$\frac{4}{}$	地球温暖化对	水ツ大川	•	1	フの加払体
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □ ⟨	並は当の動揺			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
和丑角	職体制の整備				
)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 4/4 1/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
省		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ュ				C319	蒸気の漏れ・保温の管理
ネ				C317	その他設備の不使用時の停止
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	引,供,有, 社会,			E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。	
--------------	--	---------	--

5	提出年	隻の地球	温暖化。	対策の	日標

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

;	特記事項			

・豊岡児童館と併設

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業月	デ 等	の名	称	障領	害者	支持	援ホ	;,	ム南	麻石	乍							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	8	2					
					₹	1	0	6	-	0	0	4	7	区ī	市町村	'名	東京都港区		
事	事業所等の所在地 町名番地 以 南麻布4-6-13																		
事業所等の延床面積 4,511.91 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 [☐ 1 ⁴	F未満									
所	有	Ī		自己	己所	有] 他	1者)	折有									
報	볃	Ť	範	囲		□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)								他)					
報	告範	囲の	主たる	5用		事	务所		□ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)										
		途				工均	易					□ 複合施設					●その他		
に	おける	5細2	産業分 分類番	争号	8	5	5	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■非	≅該当
再の	生可 利	能工 用	ネルキ 状	デー 況			- 発電			設		再生電気			ネルギー	-	□ 証書によ の利用	る環境値	面值
前か	_		设告内 定 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 100	kl
一颗儿出	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 灰 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 42.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	(示数 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	11,328.2	45.00	509.8	0.0136	25.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
765	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	143,539.0	9.97	1,431.1	0.4890	70.2
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	198,397.9	9.76	1,936.4	0.4890	97.0
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 3,877.2		¹⁵ 192.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	6,882.9			0.2660	1.8
他	公共下水道			m^3	6,882.9			0.4000	2.8
		合 計							4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	<u> おらない (m b友 11 , x) タヒ ∀フ x /ロヒ イン (7)</u>

4	地球温暖化对	7K** 7CM	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
4 Π 4	が仕型の動法	A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和五角	職体制の整備			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
エン	ネルギー等の			B104	取7用して10詳細101012
	用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
エ				C417	不使用室の空調停止
ネルバ					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5	提出年	隻の地球	温暖化。	対策の	日標

目標の有無	□有■無				_				
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO ₂ 削減率(前年度)						
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)						
	その他	特記事項に内容を記載							

6	特記事項

・児童発達支援センター併設

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所等の概要	i
1	ず水川 サツルス	

事	業所	等	の名	称	芝剂	甫学	童	クラニ	ブ											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	8	3						
					Ŧ	1	0	8		0	0	2	3	区ī	市町村	名 東	京都港区			
事業所等の所在地町名番地以 芝浦4-12-18																				
事	事業所等の延床面積 366.55 m ² 事業所等の実績年度の 1年度分 □ 1年度の □ 1年度分 □ 1年度分 □ 1年度の □ 1									F未満										
所	有	•	形	態		□ 自己所有 ■ 他者所有														
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3	■ 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ ¾	建物の-	-部((その	他)
報	告範圍	囲の	主たる	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施詢							商業施設	분(飲	(食)					
		途				工均	易		□ 複合施設							■ その他				
			ミ業 分類 番		8	5	3	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店		■非	該当
再2の	生可能 利	能工. 用	ネル ^ュ 状	ギー 況				を立って記録し		設		再生電気			ネルギー		証書に。 の利用	よる事	環境価	i値
前か	年度 ら 0		设告内 医 更	n 容 点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1)	37	kl
→ ±4 /1. ±	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		71	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	71	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	193.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			灰川		6	7	8=(6/1000)×7	9	10=8×9×44/12
LAN	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
<i>T</i> N1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	146,816.0	9.97	1,463.8	0.4890	71.8
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^\	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	⁽¹⁾ 0.0	0.4890	0.0
合 計							⁽¹⁾ 1,463.8		71.8
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	883.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	883.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	715 81 1111 112 11 1 AT 18 V 2 3 3 115 11 1 1 1

	地冰価吸化剂		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
√ □	並は出の動性			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
水 丑	職体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
-	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省工					
ネ					
ルギ					
ì		D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	政佣体认为权			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	=0.(共)				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5	提出年	隻の地球	温暖化。	対策の	日標

目標の有無	□有■	無無			_				
	ベンチマーク	区分		ランク		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(3	近床面積当た			t				
	その他		特記事項に内容を記載						

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

事	業月	千等	の名	称	児重	童相	談	折												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	4						
					₹	1	0	7	-	0	0	6	2	区ī	市町村の	名 東京	京都港区			
事業所等の所在地					町彡以	名番	F 地 下	南青				1及で								
事	業所	等の	延床面	面積		3,	503.	.67	m^2	事	業 戸 ネ ノ	下等 レギ	の <u>'</u> -	実 種 使	責年度(用期	か 間	1年度分] 1年末	未満
所		í	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有								
報	쉳	ī	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	物	カー	部(テナ	-ント)	■ 菱	書物の―	部(-	その他	1)
報	告範	囲の	主たる	る用		事	务所					商美	 能施	設(物販)		的業施設	(飲:	食)	
		途				工均	易					複台	}施	設		■ そ	その他			
に	おけん	る細さ	産業分 分類番	昏号	8	5	3	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		加盟店		▮非該	亥当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 立。 配立。	帯の	設			ミ可能		ネルギー		証書に の利用	はる環	境価値	直
前か	_		设告卢 変 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 112	kl
一颗化岩	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
一 酸 化 炭 素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
1外 山 里	総計(④=②+③)	4 215	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	^⑤ 61.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (D=8×9×44/12
444	都市ガス			Nm^3	35,261.6	45.00	1,586.8	0.0136	79.1
燃料	その他(LPG))		kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
<i>T</i> (1)	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	276,338.9	9.97	2,755.1	0.4890	135.1
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
^(その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,604.0	9.76	15.7	0.4890	0.8
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 4,357.5		215.0
その				m^3	1,205.1			0.2660	0.3
の他	公共下水道			m^3	1,433.3			0.4000	0.6
		合 計							0.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
 - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×億

4	地球温暖化対策の実施状況
---	--------------

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
公口 幺	職体制の整備				
形土月	戦性間の整備				
1	よった たん	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
D < 7	77 72 72 72				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止		
省					
工					
ネル					
ルギ					
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
ж	以				
				E130	全熱交換器の導入
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
	EV NU 447 (VI) VK			E142	太陽熱利用設備の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			_
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)	%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特記事項
()	4T m - 112

・子ども家庭支援センター等と複合施設

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	笠の	概要
1	チャル	T 0/	(1) JY 1 75C

事	業所	デ 等	の名	称	札	ノ辻	スク	エブ	7								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	5			
	W	<i>t-t-</i>		11.	Ŧ	1	0	5	_	0	0	1	4	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等 0.)所石	E地	町 <i>ź</i> 以	名番	F 地 下	芝王			番45						
事	業所等	等の	延床面	面積		6,	384.	.85	m^2	事	業 戸 ネ <i>i</i>	下等 レキ	の <u>;</u> -	実 種 使	責年度 ∅ 用期間	1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		自己	己所	有		〕他	1者月	听有	•				
報	告	Ì	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕 殖	き物の	カー	部(テナ	-ント)	■ 建物の一	部(その他)
報	告範[囲の	主たる	る用		事	务所					商業	 能	設(物販)	□ 商業施設	(飲食)
		途				工均	易					複合	}施	設		■ その他	
	本 標 おける				9	8	2	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可育 利	能工 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 土 / 直設(設		再生電気	三可能	能工 受入	ネルギー	□ 証書によ の利用	る環境価値
前か	年度らる		设 告 卢	7 容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 281	kl
一颗化皂	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		t
- 酸化灰素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	^④ 548	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 85.3	$kg-CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出	炭素排出量 排出量**1
			使用		6	7	(§=(6)/1000)×7	係数 ^⑨	(t) 10=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	11,677.2	45.00	525.5	0.0136	26.2
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
765	その他()				0.0				
_	一般透配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	1,062,692.0	9.76	10,371.9	0.4890	519.7
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
승 計						⁽⁴⁾ 10,897.3		⁽¹⁵⁾ 545.9	
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	4,576.0			0.2660	1.2
他	V 11 1 774			m^3	6,468.0			0.4000	2.6
		合 計							3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
4	<u> おらない (m b友 11 , x) タヒ ∀フ x /ロヒ イン (7)</u>

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
公日 幺	織体制の整備				
水丘 /	戦 中 同 リ 歪 浦				
1	カッギ かの	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
使用状況の把握				B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
省				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ц Н				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ルギ				C525	利用客数別水道使用量の把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
朿	政源体引为来				
				E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以哺等八刈水			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%	
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特言	2事項

・令和4年度開設の施設で、令和3年度の実績は準備期間中の実績となります。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

		•///																	
事	業別	デ等	の名	称	精礼	中障	害	者支	泛援 [、]	セン	ター	- 8	あい	は	-と・3	みな	<u>ک</u>		
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	-	0	0	8	6					
	VII	1.1.	/		₹	1	0	5	_	0	0	1	3	区	市町村	寸名	東京都港区		
事	業所	等の	外有	E地	町纟以														
事	業所	等の	延床面	面積		1,280.74 m ² 事業所等の実績年度の エネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満													
所	有	Ī	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有													
報	끋	ī	範	囲		建物	勿の	全剖	3 [〕	と物(カー	部(テナ	-ント)] 建物の一	部(そ	の他)
報	告範	囲の	主たる	る用		□事務所□商業が							 能施	施設(物販) □ 商業施設(飲食)					
		途				工場	易		□ 複合施設								●その他		
	本 標 おける				8	5	5	9		鎖化	(事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可 利	能エ 用	ネル ^は 状	ギー 況				企业/ 直設(設			E可能 【のS		ネルギ	_	□ 証書によ の利用	る環境	6価値
前か	年度らい			n 容 点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1)	41	kl
一些儿儿	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	60.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
					6	7	8=(6/1000)×7	9	(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	10,507.5	45.00	472.8	0.0136	23.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()	ひ他()			0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	112,517.0	9.97	1,121.8	0.4890	55.0
電気	の電線路を介して供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 1,594.6		78.6
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,491.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			m^3	2,491.0			0.4000	1.0
		合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
∀ □	散体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
形土 形	取 平 削 グ 笠 佣				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
1,	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C510	その他設備の不使用時の停止
ュ					
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	以用小门八八				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以州等八刈尔			E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				_					
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%					
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量)							
	その他	特記事項に内容を記載								

6	特記事項

・ 当該施設は指定管理者が運営・管理。

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所	垒	の根	F 要
	事 を111	7	マンル	1435

事	業月	デ 等	の名	称	旧三	三田	図	書館	Î								
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	7		_	
					₹	1	0	8	_	0	0	1	4	区ī	市町村名	東京都港区	
事	業所	等 0	所在	土地	町彡以	名番	F 地 下	芝5·	-28-	4							
事	業所	等の	延床面	ī積		4,	321.	.24	m^2	事	業 戸 ネ <i>ァ</i>	下等 レキ	の <u>'</u> -	実 種 使	責年度の 用期間	■ 1年度分	□ 1年未満
所	有	Î	形	態		■ 自己所有 □ 他者所有											
報	볃	i	範	囲		建物	勿の	全部	S [〕 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)	□ 建物の一	部(その他)
報	告範	囲の	主たる	5用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食)								(飲食)			
		途				□ 工場 □ 複合施設									■ その他		
に:	おける	5細2	産業分 分類番	子号	9	8	2	1		鎖化	事	業区	分		直営 店	□ 加盟店	■ 非該当
再の	生可 利	能工 用	ネルキ 状	デー 況			- 予 - 発官			設			ミ可能		ネルギー	□ 証書に』 の利用	る環境価値
前か	_		设告内 変 更	容点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 67	kl
→ ±4 /1, ±4	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	⁽⁴⁾ 129	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 29.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別				単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1}
			使用		6	7	8=(6)/1000)×7	(示数 ⑨	(t) 10=8×9×44/12
	都市ガス			Nm^3	16,078.4	45.00	723.5	0.0136	36.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
2111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	191,682.0	9.97	1,911.1	0.4890	93.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3	項の場合のみた	なし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽¹⁴⁾ 2,634.6		129.8
その	水道及び工業			m^3	883.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			m^3	883.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖化対策の実施状況
-	715 81 1111 112 11 1 AT 18 V 2 3 3 115 11 1 1 1

4	地冰価吸化剂	2,1.	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
√ □	並は出の動性			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 弁	職体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
) 18 kg	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運 用 対 策	C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C520	給湯設定と使用場所の温度差把握
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C510	その他設備の不使用時の停止
エネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	-n./#-/n 1.1 //	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

5	提出年	隻の地球	温暖化。	対策の	日標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO2削減率(前年度)		%			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$		t				
	その他	特記事項に内容を記載						

6	特記事項				

地球温暖化対策報告書(その2)

1	事業所		/ 押 更
1	チャルハ	T V ~	ᄁᄵᅜᅑ

#	₩ =r	:	<i>∞</i> 47	<i>14</i> -		L -	/□ →	₹											
争	業所	寺	の名	1 / / / /	/~	より'	木	主											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	2					
					₹	1	0	8	-	0	0	2	3	区	市町木	寸名	東京都港区		
事業所等の所在地町名番地以 芝浦3-4-1グランパークプラザ棟																			
事	業所等	争の多	延床面	面積			819.	.88	m^2	事	業	f等 レギ	の <u>}</u> 	実 ん 使	責年 度 用 期	ぎの目間	■ 1年度分		1年未満
所	有	,	形	態		自己	己所	有		■ 他	1者月	折有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全部	3	■ 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一	部(そ	の他)
報	告範圍	囲の	主たる	る用		□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食						(飲食	Ξ)						
		途				工均	易					複台	复合施設 ■ その他						
	本 標 おける				8	5	3	1		鎖化	(事	業区	分		直営 店		□ 加盟店		非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネル ^は 状	ギー 況				E 立		設		再生 電気			ネルギ	_	□ 証書によ の利用	る環境	危価値
前 か	年度 ら 0	の 報 り 婆		7 容点	令和	15年	度美	ミ績 』	たり、 ,	原油	換算	130K	L以	上に	こなった	ため	新規報告		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	31	kl
→ ±4 /1, ±4	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	1	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	60	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	71.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=8×9×44/12
.[44].	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(温水))		MJ	14,284.0	1.36	19.4	0.0600	0.9
及	その他(冷水))		MJ	153,120.0	1.36	208.2	0.0600	9.2
び熱	その他()				0.0				
3111	その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間	間不明の場合を含む。)		kWh	100,465.0	9.76	980.5	0.4890	49.1
規貝	川第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					⁽⁴⁾ 1,208.2		¹⁵ 59.2
その	水道及び工業	 美用水道		m^3	2,869.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			m^3	2,869.0			0.4000	1.1
		合 計							1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

			<u> </u>	 	その他対策					
		対策番号	3	対策名	対策番号 対策名					
/	₩ /I. Hul -> ±6 /#									
組着	織体制の整備									
		B105	エネルギー使	戸用量の前年度比較	B106	過去のデータによ	る傾向の把握			
	ネルギー等の 用状況の把握									
史 /	用状況の指揮									
		C101	空室•不在時	等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理	里			
		C106	冷暖房温度を	・ と都の推奨値へ変更	C124	冷凍機等の出入口	温度把握と調整			
		C109	空室•不在時	等の空調停止	C125	進入外気に伴う空	ご調負荷の低洞			
		C501		箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務				
	運用対策			じた空調の設定変更	-	エレベータ運転台				
		C508		等の空調停止	C510	その他設備の不何				
省		C500	王王 小正似	4の王剛は正	0010	この	C/11m1 v/ IT II.			
エネ						<u> </u>				
ル										
ギー		D104	佐田 つったり	 一の清掃・点検	D105	換気フィルターの	连担. 占怜			
 対		D104	全調ノイルグ	一07月1市 - 总恢		+				
対策	設備保守対策				D108	その他設備の定期	明的な体寸・息化			
	設備導入対策									
主約	責年度の目標達	成の生活	□目標達	成した						
~ /I	質1及ジロ际圧	720000		13,0100						
5	提出年度の地	球温暖化	と対策の目	標						
		□有	無							
		ベンチマー		ランク	CC	2削減率(前年度)	%			
目札	画荷笠(選切)	-	量(延床面積当た							
目標値等(選択)		ししいが出る	包 ()	kg-C	Ω_o/m^2 CC	。排出量(総量)	t			
	示胆守(迭)()	CO ₂ 排出重 その他	■(延床面積目だ	kg-C 特記事項に内容		2排出量(総量)	t			

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

	- / / -	// '																	
事	業所	等	の名	称	きら	きら	っプ	ラザ	新村	喬									
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	-	0	0	7	1					
<u> </u>	JIV	<i>tete</i> -	<i>,</i>		₹	1	0	5	_	0	0	0	4	区	市町村	寸名	東京都港区		
事業所等の所在地			: 地	町以以	名番地 新橋6丁目4番1号														
事	業所等	等の3	延床面	ī積		1,	570.	.50	m^2						責年 月 用 期		■ 1年度分	1	年未満
所	有	•	形	態		自己	己所	有] 他	1者	听有							
報	告		範	囲		建物	勿の	全剖	3 [] 殞	き物の	カー	部(テナ	-ント)		□建物の一	部(その)他)
報	告範圍	用の	主たる	5用		事	务所					商業	削	設(物販)] 商業施設	(飲食)	
		途				工均	易					複合	}施	設			●その他		
	本 標 おける				8	5	4	9		鎖化	事	業区	分		直営 店		□ 加盟店	■∌	非該当
再の	生可能 利	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				記記		設			E可能 【の5		ネルギ	_	□ 証書に の利用	よる環境の	価値
前 か	年度 ら 0	の 執 り 変		容点	令乖	口5年	度美	ミ績 』	たり、	原油	換算	130K	L以	上に	なった	ため	新規報告		

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算コ	ニネルギー使用量(①=④×0.0258)	1)	30	kl
一些儿中	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)		58	t
二酸化炭素 排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	0	t
1分 山 里	総計(④=②+③)	4	58	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面 積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	36.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 ^{※1} (t)	
			使用		6	7	8=(6/1000)×7		(t) (0=8×9×44/12
.[4].	都市ガス			Nm^3	9,856.0	45.00	443.5	0.0136	22.1
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	び その他()				0.0				
765	べ その他()				0.0				
_	一般送配電事業 者	昼間(8時~22時)		kWh	75,071.0	9.97	748.5	0.4890	36.7
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規貝	第5条の17第3	項の場合のみた	よし値 [※]	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⁽¹⁴⁾ 1,192.0		58.8	
そ 水道及び工業用水道			m^3	440.0			0.2660	0.1	
他	公共下水道			m^3	440.0			0.4000	0.2
		合 計							0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

4	地球温暖	化対策の実施状況

$\frac{4}{}$	地球価唛化刈	21.	重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定		
組絲	職体制の整備						
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示		
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小		
省エネル	運用対策						
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検		
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検		
	=11./#c.}#= 1 1.1 k/kc						
	設備導入対策						

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度) %			
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当た	$kg-CO_2/m^2$	CO ₂ 排出量(総量) t			
	その他	特記事項に内容を記載				

6	特記事項
()	4T m - 112

・当該施設は指定管理者が運営・管理。